

# 令和5年度 事業報告書

自 令和 5年 4月 1日

至 令和 6年 3月 31日

令和6年3月31日

公益財団法人浜松地域イノベーション推進機構



## 目 次

令和5年度事業の主な成果指標	．．．．．	P 1
令和5年度事業報告	．．．．．	P 5
<b>1 【知る】情報発信</b>		
1 広報事業	．．．．． 《市受託、県補助、8市町負担金、財団自主》	P 5
<b>2 【解く】相談・コンシェルジュ</b>		
2 相談事業（専門家派遣事業含む）	．．．．． 《市受託》	P 8
3 企業訪問事業	．．．．． 《市受託》	P 9
4 研究会推進事業	．．．．． 《事務局受託》	P 11
<b>3 【興す】創業・新事業展開支援</b>		
5 創業・新事業展開支援事業	．．．．． 《財団自主》	P 15
6 債務保証事業	．．．．． 《財団自主》	P 18
<b>4 【活かす】知財総合支援</b>		
7 知的財産活用推進事業	．．．．． 《市受託》	P 20
8 はままつ知財研究会連携事業	．．．．． 《事務局受託》	P 22
9 特許等出願支援補助事業	．．．．． 《市受託》	P 25
<b>5 【学ぶ】人材育成支援</b>		
10 製造中核人材育成事業	．．．．． 《県補助、8市町負担金》	P 28
11 現場力向上人材育成事業	．．．．． 《県補助、8市町負担金》	P 29
12 企業力向上促進事業	．．．．． 《県補助、8市町負担金》	P 31
<b>6 【創る】新事業開発支援</b>		
13 新産業創出支援事業	．．．．． 《市受託》	P 34
14 新事業挑戦支援事業	．．．．． 《市受託》	P 38
15 カーボンニュートラル対策促進事業	．．．．． 《市受託》	P 40
16 サイバーセキュリティ対策促進事業	．．．．． 《市受託》	P 41
17 競争的資金活用支援事業	．．．．． 《県補助、8市町負担金、国補助》	P 42
18 はままつ次世代光・健康医療産業創出事業	．．．．． 《財団自主》	P 44
19 地域産業活性化支援事業	．．．．． 《財団自主》	P 46
20 フォトンバレーセンター事業	．．．．． 《県・8市町負担金、A-SAP》	P 49
21 次世代自動車センター事業	．．．．． 《県・浜松市負担金、財団自主、会員会費、国委託》	P 61

## 7 【拓く】販路開拓支援

2 2	ものづくり販路開拓支援事業	《市受託》	P 72
2 3	マッチング支援事業	《財団自主、市受託》	P 77
2 4	デジタル化推進事業	《市受託》	P 81
2 5	海外ビジネス展開支援事業	《市受託》	P 82



## 令和5年度事業の主な成果指標

### ◎財団業務全般を通じた成果指標

新産業の創出・新事業展開に向け、地域企業の研究開発を通じた製品試作や事業化を支援

項目	実績		指標
	令和4年度※1	令和5年度※2	令和5年度
製品化・事業化件数	36件	41件	30件

※1：令和5年3月末日時点、※2：令和6年3月末日時点（以下、同じ）

### ◎事業別成果指標

#### 1 広報事業・・・P5

項目	実績		指標
	令和4年度※1	令和5年度※2	令和5年度
ホームページアクセス件数	50,072件	45,888件	50,000件
メールマガジン配信登録件数	1,800件	1,948件	1,800件

#### 2 相談事業・・・P8

(相談・・・P8)

項目	実績		指標
	令和4年度※1	令和5年度※2	令和5年度
相談件数（経営・技術・知財総件数）	1,777件	1,991件	1,800件
経営相談件数	541件	876件	
技術相談件数	274件	217件	
知財相談件数	962件	898件	

(専門家派遣事業・・・P9)

項目	実績		指標
	令和4年度※1	令和5年度※2	令和5年度
支援企業数	20社	20社	23社

(企業訪問事業・・・P9)

項目	実績		指標
	令和4年度※1	令和5年度※2	令和5年度
訪問企業数 ※延べ件数	1,119件	1,225件	1,000件
新規訪問企業数	139社	114社	200社

#### 3 創業・新事業展開事業・・・P15 ※はままつ起業家カフェ実績

項目	実績		指標
	令和4年度※1	令和5年度※2	令和5年度
創業相談件数	1,235件	1,216件	800件
創業者件数	90件	82件	50件

#### 4 知的財産活用推進事業・・・P20

項目	実績		指標
	令和4年度 <sup>※1</sup>	令和5年度 <sup>※2</sup>	令和5年度
相談対応件数 <sup>※3</sup>	962件	898件	750件
新規相談対応件数	99社	86社	100社
企業訪問数	80件	69件	80件

※3：静岡県発明協会の知財総合支援担当による相談件数を含む

#### 5 特許等出願支援補助事業・・・P25

項目	実績		指標
	令和4年度 <sup>※1</sup>	令和5年度 <sup>※2</sup>	令和5年度
特許出願件数（国内）	7件	13件	10件

項目	令和4年度 <sup>※1</sup>	令和5年度 <sup>※2</sup>	
特許出願総数（国内） <sup>※4</sup>	101件	114件	
特許出願登録件数（国内） <sup>※4</sup>	51件	58件	

※4：特許等出願支援補助事業の出願登録件数は、平成25年度からの累計

#### 6 人材育成事業・・・P28

##### （製造中核人材育成事業・・・P28）

項目	実績		指標
	令和4年度 <sup>※1</sup>	令和5年度 <sup>※2</sup>	令和5年度
「製造中核人材育成講座」受講者数	一名	15名	20名
「製造中核人材育成講座」受講者満足度	－%	100%	90%以上

##### （現場力向上人材育成事業・・・P29）

項目	実績		指標
	令和4年度 <sup>※1</sup>	令和5年度 <sup>※2</sup>	令和5年度
現場改善実践支援企業数	4社	4社	10社
企業訪問数	8社	7社	30社

##### （企業力向上促進事業・・・P31）

項目	実績		指標
	令和4年度 <sup>※1</sup>	令和5年度 <sup>※2</sup>	令和5年度
製品化支援企業数	一件	1件	3社
間接部門デジタル化支援企業数	一件	4件	3社

#### 7 新産業創出支援事業・・・P34

項目	実績		指標
	令和4年度 <sup>※1</sup>	令和5年度 <sup>※2</sup>	令和5年度
スマートものづくり支援デスク相談件数	83件	107件	100件
企業訪問数 ※延べ件数	108社	131社	100社
新規プロジェクト立上げ件数	1件	3件	1件以上
技術連携マッチング件数	6件	6件	5件
産業用ロボット・IoT導入企業数	3社	4社	3社

8 競争的資金活用支援事業・・・P42

項目	実績		指標
	令和4年度 <sup>※1</sup>	令和5年度 <sup>※2</sup>	令和5年度
研究開発型補助金申請件数 <sup>※5</sup>	6件	3件	3件

※5：国等の研究開発関連補助金（Go-Tech 事業等）

9 ものづくり販路開拓支援事業（展示商談会出展補助金）・・・P72

項目		実績		指標
		令和4年度 <sup>※1</sup>	令和5年度 <sup>※2</sup>	令和5年度
国内	出展企業数	32社	59社	40社
	商談成立件数	30件	86件	40件
海外	出展企業数	16社	13社	10社
	商談成立件数	8件	8件	10件

10 マッチング支援事業・・・P77

項目	実績		指標
	令和4年度 <sup>※1</sup>	令和5年度 <sup>※2</sup>	令和5年度
「浜松地域技術商談会」商談成立件数	2件	4件	5件
マッチング件数	76件	71件	一件

11 デジタル化推進事業・・・P81

項目	実績		指標
	令和4年度 <sup>※1</sup>	令和5年度 <sup>※2</sup>	令和5年度
ハンズオン支援企業数	4件	4件	4件

12 フォトンバレーセンター事業・・・P49

項目	実績		指標
	令和4年度 <sup>※1</sup>	令和5年度 <sup>※2</sup>	令和5年度
相談・対応件数	874件	850件	1,000件
地域企業の製品開発件数	3件	5件	5件
「光・電子技術活用補助金 <sup>※6</sup> 」採択件数	5件	4件	5件
A-SAP <sup>※6</sup> 申請件数	47件	42件	30件
A-SAP <sup>※7</sup> 採択件数	5件	12件	12件
技術ニーズマッチング社数	5社	11社	16社
商談成立件数	1件	1件	5件

※6：光・電子活用チャレンジ事業費補助金

※7：産学官金連携イノベーション推進事業

1.3 次世代自動車センター事業・・・P61

項目	実績		指標
	令和4年度※1	令和5年度※2	令和5年度
会員入会企業数	498社	530社	1社
訪問・来訪企業件数 ※延べ件数	236回	227回	260回
<内訳>			
・固有技術探索チャート現場指導	6回	3回	5回
・先行企業訪問調査	4回	14回	10回
・技術ニーズマッチング	6回	1回	10回
・試作部品製作委託現場指導	20回	15回	15回
・部品ベンチマークルーム等見学	200回	162回	200回
・サプライチェーン基盤強化現場指導	1回	32回	20回
秘密保持契約締結件数	44件	22件	10件
「固有技術探索活動基礎講座」受講企業数	25社	4社	20社
試作品製作委託契約件数	6件	4件	8件

# 令和5年度 事業報告

※金額は令和5年度決算額、（ ）内は令和5年度予算額、<>内は財源

## 1【知る】情報発信

### 1 広報事業

決算額 638,000 円（予算額 1,500 千円）	<浜松市受託>
決算額 253,540 円（予算額 800 千円）	<財団自主>
決算額 1,374,285 円（予算額 1,653 千円）	<県補助・8市町負担金>

#### 【目的】

財団の企業支援情報及び国、県、市などの中小企業のニーズに即した支援情報を集約・整理し、速やかに各種ツールで提供することにより地域企業を支援する。

#### 【年度総括】

令和5年度は、「財団支援施策ガイドブック」を発行し、企業訪問等の際に財団事業説明ツールとして活用した。また、メールマガジンや浜松商工会議所の広報媒体を活用して財団事業のほか、関係団体の支援情報等の積極的な発信に努めた。

また、浜松地域産業支援ネットワーク会議では、参画機関を対象に静岡県浜松工業技術支援センター施設視察会や講演会を開催し、地域支援機関の情報共有と地域経済の情報収集に努めた。

引き続き、各種支援施策が多くの地域企業に活用されるよう、財団や関係団体の支援情報等をわかりやすく発信していく。

#### 【実施内容】

##### (1) ホームページ、メールマガジンなどによる情報発信

地域企業・大学・研究機関などの最新活動内容や国・県・市の補助金などの支援情報及び地域企業の研究開発や事業化に有益な情報をホームページ（随時更新）やメールマガジンなどを通じて発信する。紙媒体ツールとしては、支援施策ガイドなどを作成した。

##### ア メールマガジンの配信 <広域事業>

配信日：毎月第1・第3水曜日

内 容：財団の講習会・講演会・セミナー・補助金情報、地域支援機関の支援メニュー、国等の統計情報など

##### イ 支援施策ガイドの発行

###### <浜松版>

発行日：令和5年4月

部 数：2,500部

規 格：A4サイズ、32頁

内 容：財団、経済産業省、浜松市などの支援施策及び成果事例

###### <県西部広域版>

発行日：令和5年4月

部 数：3,000部

規 格：A4サイズ、20頁

内 容：財団、経済産業省、県西部7市町など（浜松市除く）の支援施策及び

## 成果事例

配 布：県西部市町の製造業者（約 551 社）へ発送

ウ 浜松商工会議所 NEWing 広告掲載（4月号）

発行日：令和 5 年 4 月 1 日（金）

部 数：15,000 部

規 格：本文中ページ（表 2 対向）

内 容：令和 5 年度の財団補助金（特許、展示会、新事業挑戦）等の紹介

エ 浜松商工会議所 NEWing 広告掲載（6月号）

発行日：令和 5 年 6 月 1 日（水）

部 数：15,000 部

規 格：表 2、本文中ページ（見開き 2 頁）

内 容：スマートものづくり支援デスクの紹介、財団コーディネーター無料相談、企業間マッチングサポート支援等の紹介

オ ホームページ、メールマガジン配信システム改修

ホームページへのアクセス分析を行い、その結果に基づきホームページの掲載内容の充実やメルマガにおける配信登録先の情報管理など、システム改修を通じて、迅速で適切な情報提供に取り組んだ。

カ パブリシティ展開

財団施策メニューや地域企業の新たな取り組み等を報道各社へ投込みし、パブリシティの獲得に向け積極的に対応した。

### (2) 企業情報・顧客ニーズ調査把握

既存の企業情報データベース（企業情報と当財団コーディネーターによる支援の履歴情報を一元化管理するデータベース）を活用し、企業のニーズに即した支援情報の提供や新規顧客の獲得などに努めた。

### (3) 支援機関との情報共有

日本政策金融公庫浜松支店に財団の事業説明を行うとともに、浜松支店の取り引き先企業が抱える課題の共有を図り、後日、財団職員が相談対応を行った。

相談対応実施企業：5 社

### (4) 浜松地域産業支援ネットワーク会議

地域の 7 つの産業支援機関からなる「浜松地域産業支援ネットワーク会議」の事務局として、中小企業支援等の相互の情報共有や事業連携を推進する。

[参加団体] 浜松市、浜松商工会議所、(株)浜名湖国際頭脳センター、静岡県中小企業団体中央会西部事務所、静岡大学イノベーション社会連携推進機構、静岡県工業技術研究所浜松工業技術支援センター、(公財)浜松地域イノベーション推進機構

[オブザーバー] (独)中小企業基盤整備機構中部本部浜松イノベーションキューブ  
(独)日本貿易振興機構浜松貿易情報センター (JETRO 浜松)

開催日：令和 5 年 4 月 15 日（月）、6 月 12 日（月）、7 月 12 日（水）、  
9 月 14 日（木）、10 月 10 日（火）、11 月 13 日（月）、  
12 月 11 日（月）、1 月 17 日（水）、2 月 22 日（木）、  
3 月 11 日（月）

**【成果指標】**

項目	実績		指標
	令和4年度※1	令和5年度※2	令和5年度
ホームページアクセス件数	50,072件	45,888件	50,000件
メールマガジン配信登録件数	1,800件	1,948件	1,800件

※1：令和5年3月末日時点、※2：令和6年3月末日時点

## 2【解く】相談・コンシェルジュ

### 2 相談事業（専門家派遣事業含む）

決算額 3,659,227 円（予算額 4,912 千円）

＜浜松市受託＞

#### 【目的】

創業及び経営の向上を図る中小企業者や組合等が抱える経営、技術、人材、情報、知財等の様々な問題に対して、当財団のコーディネーターが相談に応じるとともに、民間の専門家を派遣し適切な助言を行うことにより中小企業者等の成長を促進する。

#### 【年度総括】

相談事業を通じて、地域企業の課題対応及び解決に努めた。令和5年度は、エネルギー・原材料や人件費の高騰等の影響で収益性の改善を図りたいという相談が増加し、必要に応じて専門家を派遣するなど、原価低減や省エネに関する現場改善等の課題に数多く対応した。また、「能登半島地震」や自動車メーカーの生産中止など当地域でも経済的な影響を受けた企業もあり、事業継続計画（BCP）の見直し（更新）についての相談が増加した。影響のあった企業等には状況を確認するとともに必要に応じて専門家の派遣へ繋げた。引き続き、相談対応企業には定期的に訪問し、進捗確認をはじめ、更なる課題へのサポートを通じて、持続的な成長へとつなげていく。

#### 【実施内容】

様々な問題を抱える中小企業者等に対して、相談内容に応じて当財団のコーディネーターや専門家アドバイザーが相談に応じるとともに、地域企業の課題に対応するため、個別提案（マッチング）の場を提供した。さらに、地域企業の技術で対応できる大手企業等のニーズ案件を探索して、地域企業の販路開拓を支援した。また、明確な事業方針が定められていない企業に対し、経営ビジョンの作成を行う伴走型の事業方針作成支援を行った。

#### (1) 各種相談

##### ・相談件数

項目	令和4年度*1	令和5年度*2	対前年比
相談件数（経営・技術・知財総件数）	1,777 件	1,991 件	112.0%
経営相談	541 件	876 件	161.9%
技術相談	274 件	217 件	79.1%
知財相談	962 件	898 件	93.3%

##### ・主な活動内容件数

項目	令和4年度*1	令和5年度*2	対前年比
広報	327 件	279 件	85.3%
専門家派遣	132 件	239 件	181.0%
創業・起業	1 件	7 件	700.0%
知的財産（特許・商標等）	918 件	828 件	90.1%
人材育成	39 件	97 件	248.7%
生産性向上・デジタル化	217 件	161 件	74.1%
研究開発・新事業展開	480 件	251 件	52.2%
競争的資金	136 件	82 件	60.2%
販路開拓	171 件	192 件	112.2%

(2) 専門家派遣事業

分野	令和4年度※1		令和5年度※2	
	派遣企業数	派遣回数	派遣企業数	派遣回数
経営	12社	60回	13社	56回
技術	8社	49回	7社	41回
知財	0社	0回	0社	0回
合計	20社	109回	20社	97回

(3) 事業方針作成支援

ア 財団技術コーディネーターを中心に、地域中小企業の技術の棚卸しから強みの把握等をサポートし、国の知的財産戦略本部の提唱する経営デザインシートを用いた事業方針策定の支援を行った。

実施期間：通年

実施内容：自社技術の棚卸し強みとなる技術の把握、経営デザインシートの作成  
伴走支援企業：4社

支援回数：53回

イ 経営デザインシート作成ワークショップ

開催日：令和6年2月9日（金）、16日（金）

会場：（公財）浜松地域イノベーション推進機構 セミナー室

講師：ヒロパートナーズオフィス（岐阜県岐阜市）代表 五島 宏明 氏

内容：経営デザインシートの作成方法、活用事例の紹介、作成ワーク

参加料：無料

参加者：11社13名（定員：20名、申込：13名）

[市内]6社8名、[市外]5社5名

ウ 経営デザインセミナー

開催日：令和6年3月26日（火）

会場：（公財）浜松地域イノベーション推進機構 セミナー室

講師：（公財）浜松地域イノベーション推進機構 技術支援G長 金子和佳

内容：経営デザインシートの作成方法、活用事例の紹介

参加料：無料

参加者：3社3名（定員：若干名、申込：3名）

[市内]1社1名、[市外]2社2名

【成果指標】

項目	実績		指標
	令和4年度※1	令和5年度※2	令和5年度
支援企業数（専門家派遣事業）	20社	20社	23社

※1：令和5年3月末日時点、※2：令和6年3月末日時点

3 企業訪問事業

決算額 1,175,551 円（予算額 1,385 千円） <浜松市受託>

【目的】

創業及び経営の向上を図る中小企業者や組合等を積極的に訪問し、経営、技術、人材、情報、知財等の課題に対して、当財団のコーディネーターが相談に応じるととも

に、企業の状況・ニーズを把握し、適切な助言や施策の紹介・活用の支援及び企業情報の発信支援を行うことにより、中小企業者等の成長及び発展を促進する。

### 【年度総括】

地域中小企業の状況把握及び課題の掘り起こしのため、令和5年度も積極的に企業訪問を行い、延べ1,225社の企業訪問を実施した。売上がコロナ禍前に回復した企業も多いが、地域中小企業では慢性的な人手不足やエネルギー材料価格の高騰による利益の減少等の課題を抱えている。人手不足の対応として、生産性向上に取り組む企業や雇用期間を延長して長く働ける環境を整備する企業もあり、中小企業にとっては継続的な大きな課題となっている。引き続き地域企業の状況把握に努め、財団支援事業等を通じて先進的な取組事例を発信するとともに、省エネをはじめとするコスト削減や適正な価格交渉等の取り組みに対して、各支援機関と連携を強化しながら対応していく。

### 【実施内容】

企業訪問の実施により、企業への御用聞きを行うことで課題を把握するとともに、地域産業の現状を整理し、施策立案につなげる。また、必要に応じて他の産業支援機関や金融機関等と連携して、各支援施策を実施した。

#### (1) 「浜松市新産業創出事業費補助金」採択企業に対する伴走支援

「浜松市新産業創出事業費補助金」は、浜松市において戦略的に支援すべきと位置付けている成長7分野（次世代輸送用機器、健康・医療、新農業、光・電子、環境・エネルギー、デジタル、ロボティクス）について新技術・新製品等の研究開発により事業化を目指す市内の中小企業者等に対し、研究開発費の一部を補助することで事業化の実現を促し、浜松経済を牽引する成長産業の創出につなげていくことを目的としている補助事業である。当財団は、当該補助金に採択された中小企業に対して、研究開発に関する技術的な支援はもとより、事業化された新技術・新製品等の販路開拓まで、浜松市と一体となったフォロー体制で支援を行った。

◎令和5年度「浜松市新産業創出事業費補助金」（市予算：115,000千円）

申請期間：令和5年2月24日（金）～3月24日（金）

申請企業数：22社

採択企業数：16社

交付決定額：106,960,280円（16社）

交付確定額：93,808,905円（15社）

#### <交付確定企業一覧>

1次	分野	事業者名
1	次世代輸送用機器	金田工業(株) (浜松市中区)
2		榎本工業(株) (浜松市北区)
3	光・電子	(株)テイデック (浜松市浜北区)
4		大石測器(株) (浜松市東区)
5		(株)カタナコーポレーション (浜松市北区)
6	健康・医療	(株)システム・クレノロジー (浜松市中区)
7		(株)はままつメディカルソリューションズ (浜松市東区)
8		(株)しずロボ (浜松市中区)
9	デジタル	(株)アールテック (浜松市中区)
10		Deep Brain 合同会社 (浜松市西区)

11		S-Bridges(株) (浜松市中区)
12	新農業	GREEN OFFSHORE(株) (浜松市中区)
13		愛管(株) (浜松市北区)
14	環境・エネルギー	アンヴァール(株) (浜松市中区)
15	デジタル	(株)クロスデバイス (浜松市東区)

(2) 4 団体連携による企業キャラバン訪問

地域の産業支援を担う 4 団体「浜松商工会議所、静岡県工業技術研究所浜松工業技術支援センター、浜松市、浜松地域イノベーション推進機構」は、EV シフト、環境対応、人手不足等の社会課題や企業の強み・弱み等のヒアリングを令和 6 年 2 月から開始し 2 回企業訪問を行い、課題解決に向け 4 団体連携のための情報共有を図った。

(3) 国事業へのチャレンジ支援

国等の事業へチャレンジする中小企業を支援するため財団を通じて、該当事業の制度説明や申請書類等の確認、関係企業との面談の機会の準備をした。

【成果指標】

項目	実績		指標
	令和 4 年度 <sup>※1</sup>	令和 5 年度 <sup>※2</sup>	令和 5 年度
企業訪問件数 ※延べ件数	1,119 件	1,225 件	1,000 件
新規企業数	139 社	114 社	200 社

※1：令和 5 年 3 月末日時点、※2：令和 6 年 3 月末日時点

4 研究会推進事業

決算額 一千円 (予算額 一千円) <事務局受託>  
※研究会費の 2 割を受けて事務局運営を担う

【目的】

各種研究会の事務局として、総会や幹事会、講演会等の運営に係る側面支援を行うことにより、企業間の連携・交流を促進する。

【年度総括】

令和 5 年度は、4 年ぶりに新型コロナウイルス感染症の影響を受けることなく、各研究会とも年度当初の事業計画に沿って、異業種交流や企業・大学などとの連携等、様々な事業を行うことができた。

引き続き、研究会事業がスムーズにかつ効果的に実施できるよう運営を支援していく。

【実施内容】

技術や市場、販路開拓等の研究や情報交換、異分野・異業種の交流を目的とする以下の 7 つの研究会において、当財団が事務局機能を担い、セミナー、講座等の企画運営に係る支援を行った。

(1) 異業種交流グループ

ア TM プラザはままつ (会員数：23 社、賛助会員数：7 社)

技術や市場、販路開拓等の研究や情報交換、異分野・異業種の交流を目的として、中小企業の経営者が参加し、講演会や情報交換会を中心に活動を行った。

<総 会>

- ・令和 5 年度総会（4 月 11 日）

<講演会>

- ・「人を育てる」ー学力をつけ偏差値をあげることではないー（4 月 11 日）
- ・新春落語講演会・賀詞交歓会（1 月 10 日）

<視察研修会>

- ・大阪市：公益社団法人 2025 年日本国際博覧会協会 他（11 月 16 日～17 日）

<その他>

- ・情報交換会（静岡理科大学・7 月 6 日）、（浜松磐田信用金庫・3 月 5 日）
- ・地域間交流会（6 月 14 日、9 月 30 日）
- ・納涼会（7 月 21 日）

イ 浜松技術交流プラザ 82（会員数：16 社、賛助会員数：2 社）

技術や市場、販路開拓等の研究や情報交換、異分野・異業種の交流を目的として、中小企業の経営者が参加し、講演会を中心に活動を行った。

<総 会>

- ・令和 5 年度総会（4 月 18 日）

<講演会>

- ・目まぐるしく変わる技術社会に対応する技術経営（4 月 18 日）
- ・定例会：ものづくり産業をとりまく新潮流～2023 年版ものづくり白書に学ぶ～（12 月 5 日） ※ソフト研と合同
- ・3 研究会合同講演会「2024 年の世界を俯瞰し日本を考える」（1 月 11 日）  
※交流プラザ 82・都田アソシエイツ・ソフト研と合同

<視察研修会>

- ・静岡理科大学（6 月 9 日）
- ・会社説明会：静岡理科大学（12 月 6 日）
- ・会員企業見学会※静岡理科大学学生対象（3 月 4 日、3 月 8 日）  
（株）テクニカルサポート（浜松市浜名区）、山崎電機産業（株）（浜松市中央区）、  
榎本工業（株）（浜松市浜名区）、（株）メイク（浜松市浜名区）、大建産業（株）（浜松市中央区）

ウ 都田アソシエイツ（会員数：52 社）

研究開発での産学官金連携を目的として、都田テクノポリス地域を中心としたものづくり企業の経営者や研究開発部門の管理者が参加し、講演会や視察研修会を中心に活動を行った。

<総 会>

- ・令和 5 年度総会（7 月 28 日）

<講演会>

- ・2023 年の世界を俯瞰し、日本を考える（7 月 28 日）
- ・3 研究会合同講演会「DX、GX が拓くデジタル製造業の未来」（8 月 4 日）  
※都田アソシエイツ・ソフト研・金型研と合同
- ・ChatGPT 入門講座～検証しよう！ChatGPT の使いから～（8 月 29 日）
- ・3 研究会合同講演会「川崎重工業（株）のカーボンニュートラル実現に向けた取組み」（11 月 8 日） ※都田アソシエイツ・ソフト研・金型研と合同
- ・3 研究会合同講演会「2024 年の世界を俯瞰し日本を考える」（1 月 11 日）  
※交流プラザ 82・都田アソシエイツ・ソフト研と合同

- ・技術講演会「自動車部品の高強度化技術開発と破壊解析の基礎」

<視察研修会>

- ・静岡県工業技術研究所 浜松工業技術支援センター（浜松市浜名区）（7月4日）
- ・(株)資生堂 掛川工場（掛川市）（9月20日）
- ・(株)豊田自動織機 知多工場（愛知県半田市）（10月11日）※先端研と合同
- ・(一社)電線総合技術センター（浜松市浜名区）（2月15日）

<その他>

- ・市内小学生を対象とした都田地域企業視察会  
伊目小学校・訪問企業:ASTI(株)（浜松市浜名区）、ニチアス(株)（浜松市浜名区）、  
テイボー(株)（浜松市浜名区）（11月29日）
- ・企業と学生（静岡大学自動車部）との交流会（12月14日）

(2) 成長分野研究会

ア VB・VC 研究委員会（会員数：13社）

ベンチャービジネス、ベンチャーキャピタルの実態及び将来性についての研究と情報交換を目的として、中小企業の経営者が参加し、講演会と情報交換会を中心に活動を行った。

<総会>

- ・令和5年度総会（6月2日）

<講演会>

- ・「音楽のまち」のオーケストラ（6月2日）
- ・中国情勢（9月22日）
- ・工学博士が見つけた、時代を読み解く東洋の帝王学～先の見えない不安を解消する方法～（1月26日）

<視察研修会>

- ・広島県広島市、呉市（1月18日～1月19日）

イ ソフトウェア産業振興研究委員会（会員数：20社、賛助会員数：2社）

ものづくり企業の製造現場を対象としたソフトウェア産業に関する調査、研究と情報交換を目的として、中小企業の経営者が参加し、講演会と情報交換会を中心に活動を行った。

<総会>

- ・令和5年度総会（7月7日）

<講演会>

- ・三菱電機(株)「エアコン（霧ヶ峰）の開発秘話」（7月7日）
- ・3研究会合同講演会「DX、GXが拓くデジタル製造業の未来」（8月4日）  
※都田アソシエイツ・ソフト研・金型研と合同
- ・ChatGPT 入門講座～検証しよう！ChatGPTの使いから～（9月8日）
- ・3研究会合同講演会「川崎重工業(株)のカーボンニュートラル実現に向けた取組み」（11月8日）※都田アソシエイツ・ソフト研・金型研と合同
- ・ものづくり産業をとりまく新潮流～2023年版ものづくり白書に学ぶ～（12月5日）※交流プラザ82 定例会と合同
- ・3研究会合同講演会「2024年の世界を俯瞰し日本を考える」（1月11日）  
※交流プラザ82・都田アソシエイツ・ソフト研と合同
- ・講演会「先進技術で未来を拓く経営 ～ 国本工業のパイプ加工技術とDX～」  
※金型研との合同

ウ 先端精密技術研究会（会員数：法人 36 社、個人 18 名）

新しい精密技術に関して基礎となる新しい現象や学問、実際の応用例などを中心として情報交換を行い、関連分野の科学と技術の進歩に資することを目的とし、会員企業及び静岡大学や静岡理工科大学の教員が中心となって、講演会や視察研修会等の活動を行った。

<総会・幹事会>

- ・令和 5 年度総会（7 月 24 日）
- ・幹事会（5 月 12 日）
- ・代表幹事会（2 月 22 日）

<講演会>

- ・EV 時代の切削加工技術（11 月 1 日）

<視察研修会>

- ・(株)豊田自動織機 知多工場（愛知県半田市）（10 月 11 日）  
※都田アソシエイツと合同
- ・浜松ホトニクス(株) 中央研究所（浜松市浜名区）（2 月 8 日）

<その他>

- ・学生会員と企業との交流イベント（11 月 15 日）

エ 次世代設計・製造構造研究会（会員数：法人 19 社、学校 3 校、名誉 2 名）

製造業の経営層が次世代デジタル技術を社内に取り入れ、経営戦略に反映するとともに、設計から製造までのプロセスにおいて全体の最適化を図ることを目的に、最新技術に関する情報交換会（例会）とスタートアップや人材育成等をテーマとした意見交換を行う懇談会等の活動を行った。

<総 会>

- ・令和 5 年度総会（5 月 8 日）

<講演会>

- ・例会（4 月 3 日、5 月 8 日、7 月 3 日、8 月 7 日、10 月 2 日、  
11 月 6 日、2 月 5 日、3 月 4 日）

<その他>

- ・懇談会（令和 6 年 1 月 9 日）

### 3【興す】創業・新事業展開支援

#### 5 創業・新事業展開支援事業

決算額 6,816,150 円（予算額 6,873 千円） <財団自主>

##### 【目的】

浜松地域の中心産業であるものづくり産業はもとより、商業・サービス業、医療・福祉事業など、多種多様な産業分野における起業や新事業展開を促進するため、地域の産学官金の機関が連携し、起業や新事業展開を促進する環境（体制・事業）を構築する。

##### 【年度総括】

本事業では、浜松市、浜松商工会議所及び当財団の協同により設置した「はままつ起業家カフェ」を中心に創業希望者等の支援を実施している。令和5年度は、個人のサービス業、小売業の他、障害者福祉、介護等の福祉関係等のスモールビジネス創業が多くみられた。また、国の小規模事業者持続化補助金（創業枠）において特定創業支援等事業による支援を受けることが申請要件となっていることもあり、特定創業支援事業の申請も多くあった。

なお、令和5年8月に「はままつ起業家カフェ」利用者の利便性確保のため拡張工事を行った。

次年度は、新たに週1回の夜間開館、相談対応を実施することで、現在就業されている方が相談しやすい体制を整備し、さらなる起業の促進を図る。

##### 【実施内容】

浜松地域の産業基盤である製造業（ソフトウェア業含む）を新たに開業する個人又は開業後5年未満の中小企業者に対して、創業時等に係る経費の一部を助成し、浜松市の産業イノベーション構想につながる製造業が起業しやすい環境を整え、製造業の起業を促進した。また、新たに創業した個人や事業者に対して、財団及び起業家カフェ、地域支援機関（行政・地域金融機関・商工会など）が連携して起業を志す市民を幅広くサポートした。

さらに創業型事業承継支援として事業承継による創業希望者に対し、後継者不在企業とのマッチングを支援した。

<はままつ起業家カフェ実績> ※令和6年3月31日までに判明した分

##### (1) 相談事業

- ・相談件数：1,216件（延べ数） ※令和4年度実績：1,235件
- ・新規創業者数：82名（男性47名、女性35名） ※令和4年度実績：90名  
※製造業3名、建設業6名、サービス業28名、飲食業12名、医療・福祉業8名、情報通信業1名、卸・小売業17名、教育・学習支援2名、農林漁業1名、不動産業4名、運輸業1名
- ・特定創業支援事業申請：139名 ※令和4年度実績：137名
- ・事業承継相談件数：10名 ※令和4年度実績：7名

##### (2) 補助金事業

ア ものづくり創業支援補助金（市予算：1,500千円）

目 的：浜松市内で新たにものづくりに係る創業を行う者に対し、開業に際し必要となる設備費等の経費の一部を助成

受付期間：令和5年4月1日（土）～令和6年3月8日（金） ※随時

補助率：1/2 以内  
補助額：上限 500 千円  
対象経費：補助事業のために使用される単価 30 万円以上の機械装置、工具器具、分析装置、専用ソフトウェアの購入・設置、製作費用など  
申請件数：一件  
採択件数：一件  
交付決定額：一円  
交付確定額：一円

イ 会社設立支援補助金（市予算：2,500 千円）

目的：初めて会社（株式会社、合同会社、合名会社、合資会社）を設立する際に、会社設立までに要する経費の一部を助成  
受付期間：令和 5 年 4 月 1 日（土）令和 6 年 3 月 31 日（日） ※随時  
補助率：1/2 以内  
補助額：上限 100 千円  
対象経費：定款認証に必要な費用、登記申請に係る費用、会社設立に要する手続きを司法書士等に依頼した場合の報酬等の費用など  
申請件数：26 件  
採択件数：26 件  
交付決定額：2,434,855 円  
交付確定額：2,434,855 円

ウ 創業時ホームページ作成補助金（市予算：1,100 千円）

目的：新規創業者を対象に、専門家のノウハウを取り入れたクオリティの高いネットショップ（EC サイト）の構築等、ホームページの新規作成又は大幅改修に係る経費の一部を助成  
受付期間：令和 5 年 4 月 1 日（土）～令和 6 年 3 月 31 日（日） ※随時  
補助率：1/2 以内  
補助額：①上限 150 千円（EC サイト含む）  
②上限 100 千円（EC サイト含まない）  
対象経費：新規で開設する自社ホームページ作成に係る外部委託費など  
申請件数：11 件  
採択件数：11 件  
交付決定額：1,030,864 円  
交付確定額：1,030,864 円

(3) 創業・新事業展開セミナー

開催日：令和 5 年 8 月 5 日（土）  
会場：浜松商工会議所会館 会議室  
内容：“目線を上げる” 起業 そのアイデア、もう一皮むける方法があります  
第 1 部／講演  
（株）Wewill（浜松市中区）代表取締役・税理士 杉浦 直樹 氏  
第 2 部／先輩起業家による起業経験  
GO AHEAD（浜松市中区）大原 久史 氏  
晴天（浜松市東区）三室 千菜美 氏  
第 3 部／パネルディスカッション  
参加料：無料

参加者：16名

(4) 起業サロン

開催日：令和6年1月23日（火）

会場：はままつ起業家カフェ セミナー室

講師：Weddingdesign hug（浜松市中央区）山下 麻由子 氏  
STEP たのしい工作ガレージ（浜松市中央区）松岡 和彦 氏

内容：起業体験談、交流会

参加料：無料

参加者：10名（定員：10名）

開催日：令和6年2月21日（水）

会場：はままつ起業家カフェ セミナー室

講師：Jun 英会話教室（浜松市中央区）久司 順子 氏  
TERAKOYA（浜松市浜名区）竹内 太一 氏

内容：起業体験談、交流会

参加料：無料

参加者：10名（定員：10名）

(5) 起業実践サロン（全5回＋個別相談2回）

開催日：①令和5年9月1日（金）、8日（金）、15日（金）、22日（金）、  
10月6日（金）

②令和6年1月19日（金）、26日（金）、  
2月2日（金）、9日（金）、16日（金）

会場：はままつ起業家カフェ セミナー室

講師：はままつ起業家カフェ相談員（中小企業診断士）杉本 光生 氏

内容：ビジネスプラン作成講座

受講料：無料

参加者：①10名（定員：10名）、②10名（定員：10名）

(6) 特別講座

開催日：令和5年11月28日（水）

会場：浜松商工会議所会館 会議室

講師：A.C.L（アルク）（浜松市中区）小楠 智彦 氏  
アイウエシカル（静岡市）代表 白瀬 まゆ美 氏

内容：飲食関連事業者対象

受講料：無料

参加者：10名（定員：10名）

開催日：令和5年12月2日（土）

会場：はままつ起業家カフェ セミナー室

講師：リクレッサ・ラボ（浜松市中区）代表 北野 幹夫 氏 他

内容：ものづくり事業者対象

受講料：無料

参加者：3名（定員：10名）

(7) 起業家交流会

開催日：令和6年1月31日（水）

会場：グランドホテル浜松

講師：先輩起業家等  
 内容：講演会、創業者 PR、交流会 等  
 参加料：1,000 円  
 参加者：60 名（定員：70 名）

(8) 創業型事業承継支援

事業承継による創業希望者を支援し、後継者不在企業との初歩的なマッチング支援を実施することで、創業型事業承継を推進する。

創業型事業承継支援 WEB サイト「ツグはまコンシェルジュ」

<登録者> 創業希望者：16 名、後継者不在企業：3 名

【成果指標】

項目	実績		指標
	令和 4 年度*1	令和 5 年度*2	令和 5 年度
創業相談件数	1,235 件	1,216 件	800 件
創業者件数	90 件	82 件	50 件

※1：令和 5 年 3 月末日時点、※2：令和 6 年 3 月末日時点

6 債務保証事業

決算額 0 千円（予算額 1,900 千円） <財団自主>

【目的】

地域中小企業が行う技術、新製品の研究開発に係る資金調達の円滑化を図り、研究開発型企業の育成を促進する。

【年度総括】

10 年間ほど、債務保証制度の新規利用がない状況が続いていた。また、求償権の回収業務も令和 3 年度をもって終了しているため、令和 5 年 6 月開催の理事会において「債務保証事業の今後のあり方（代替措置）を検討するため、債務保証事業の受付を停止する」ことの上承を得た。7 月以降、債務保証事業を休止し、債務保証事業の今後のあり方について検討を開始した。令和 7 年度の新制度開始を予定している。

【実施内容】

<従来制度>

(1) 債務保証制度内容

保証限度額：一企業 30,000 千円以内  
 利率：年 1.5%（静岡県制度融資適用の場合）  
 保証期間：8 年以内  
 保証料率：0.9%保証限度額

- (2) 新規債務保証 新規債務保証 0 件
- (3) 債務保証残高 債務保証残高 0 円
- (4) 求償権の回収 求償権の回収業務終了

<検討経過>

- 債務保証事業に代わる事業を検討するワークショップ開催（3 回）
- Next 債務保証事業 プロジェクトチーム発足（10 月 23 日）

■プロジェクトチームの活動状況

- ・定例打合せ会（14回）
- ・行政機関への状況報告：静岡県（1回）、浜松市（1回）
- ・関係機関（金融機関、企業等）へのヒアリング（14回）

## 4【活かす】知財総合支援

### 7 知的財産活用推進事業

決算額 1,021,215 円（予算額 1,043 千円）

＜浜松市受託＞

#### 【目的】

企業活動において特許、商標等の知的財産権の重要性は益々高まっていることから、知財活用の有効性や必要性を広く地域中小企業へ啓発し、知財の効果的活用を促進するために、特許、商標等の調査、出願・権利取得、権利活用等の知財に関する各種相談への対応、支援を行う。また、中小企業等の知財に関わる人材の育成支援を行う。

#### 【年度総括】

令和5年度は、地域中小企業の知財活動の促進や課題解決のため、知財に関する各種相談に応じた。相談内容としては産業財産権の権利取得関係に加え、他社の権利取得への対策等、実務面での相談対応も実施した。

講習会・セミナー関係では、6月から1月にかけて実施した知財基礎講習会において、知財新任担当者から開発技術者まで多くの参加申し込みがあり、定員数を大幅に上回ったため、2年連続で開催日程を増やして対応した。また、著作権セミナーでは企業のSNS等のインターネット活用など実務で注意すべきポイントを解説し、知財の普及啓発に一定の役割を果たした。

#### 【実施内容】

##### (1) 知財相談対応

個々の相談案件に対して、戦略的視点をもって知財に起因する事業上のリスク低減と知財価値の最大化を図るため、知財コーディネーターと知財総合支援窓口担当（特許庁事業）とが連携し、必要に応じて特許庁事業の専門家派遣制度（弁理士・弁護士やデザイン、ブランドの専門家を派遣）を活用するとともに、知的財産に関する専門的な知識や実務経験の少ない地域企業等の若手スタッフ等を対象とした講演会や講習会等を開催した。

##### (2) 知財講演会・講習会の開催

ア 知財関連法、知財関連判例、中小企業の知財戦略・知財活用等に関する講演会を開催した。

###### ①講演会（知財関連法）

「知財マインド向上セミナー」

開催日：令和6年1月18日（木）

会場：浜松地域イノベーション推進機構 セミナー室及びWeb

講師：さくらパートナーズさくら国際特許法律事務所（愛知県名古屋市）  
弁理士 森岡智昭 氏

内容：身近な企業活動に潜むリスク  
自社の技術・ノウハウを守る

参加料：[浜松市内] 無料、[浜松市外] 1,000 円

参加者：39社46名（定員：40名、申込：46名）

[浜松市内] 37社44名、[浜松市外] 2社2名

###### ②講演会（著作権関連）

「著作権セミナー」

開催日：令和6年2月20日（火）

会 場：ホテルクラウンパレス浜松 松の間  
 講 師：さくら国際特許法律事務所（愛知県名古屋市）  
 弁護士・弁理士 三木浩太郎 氏  
 内 容：著作権の基礎  
 トラブル事例

Q&A

参加料：[浜松市内] 無料、[浜松市外] 1,000 円  
 参加者：36 社 42 名（定員：50 名、申込：45 名）  
 [浜松市内] 32 社 37 名、 [浜松市外] 4 社 5 名

イ 中小企業等における知財に関わる初心者を対象にした知財基礎講習会を開催した。

・初心者向け知財基礎講習会（全7回）

開催日：①令和5年6月30日（金）～令和6年1月26日（金）  
 ②令和5年7月5日（水）～令和6年1月31日（水）

講 師：知財コーディネーター 石井 勉

後 援：はままつ知財研究会

受講料：[浜松市内] 1,000 円、[浜松市外] 2,000 円

参加者：①14 名、②12 名（定員：15 名）

	開催日	内 容
第1回	①6月30日（金） ②7月5日（水）	(1) 知的財産権制度の概要 (2) 特許制度と特許法の概要①
第2回	①7月28日（金） ②8月2日（水）	(3) 特許制度と特許法の概要② (4) 実用新案制度の概要 (5) 特許権の事例紹介
第3回	①8月25日（金） ②9月6日（水）	(6) 特許権の権利範囲と権利解釈 (7) 特許権の利用関係
第4回	①9月29日（金） ②10月4日（水）	(8) 特許情報の活用 (9) 意匠制度の概要 (10) 商標制度の概要、ブランド化の取り組み
第5回	①10月27日（金） ②11月1日（水）	(11) 著作権制度の概要 (12) 不正競争防止法の概要 (13) 知的財産関連契約
第6回	①11月24日（金） ②12月6日（水）	(14) 研究開発成果の保護について
第7回	①1月26日（金） ②1月31日（水）	(15) 企業における知財活動と知財戦略について (16) まとめ

・J-PlatPat（特許情報プラットフォーム）検索講座

開催日：令和5年12月15日（金）

内 容：知財基礎講習会受講者を対象に、独立行政法人工業所有権情報・  
 研修館が運営する J-PlatPat の検索講座を実施

ウ 出前知財講習会

・知財相談等を通じて企業や商工会等に出向いて知財講習会を開催した。

①出張知財講習会

開催日：令和5年9月22日（金）

会場：静岡県立浜松工業高等学校

対象者：デザイン科1年生

内容：具体的事例に基づくデザイン活動に関する知的財産権について

講師：知財コーディネーター 石井 勉

参加者：29名（生徒：25名、教師：4名）

(3) 地域モデル企業の育成支援

会社の強みとなる知的財産を認識し、保護・活用する中小企業を知財経営のモデル企業とし、地域の他の中小企業への普及拡大を促進した。具体的には、モデル企業となり得る取り組みをしている地域企業を訪問しヒアリングすることで、知財経営の内容の整理を行った。

令和5年度は、部品加工や自社製品開発・販売を手掛ける市内製造業1社のヒアリング及び知財支援を実施し、モデル企業として企業の取り組み等の整理を行った。

【成果指標】

項目		実績		指標
		令和4年度※1	令和5年度※2	令和5年度
①相談対応件数		962件	898件	750件
②新規相談対応件数		99社	86社	100社
③企業訪問件数		80件	69件	80件
④出願支援件数	特許	8件	7件	/
	実用新案	1件	2件	
	意匠	4件	6件	
	商標	61件	40件	
⑤出張知財講習会開催回数		1回	1回	1回
⑥新規モデル企業件数		1件	1件	1件

※1：令和5年3月末日時点、※2：令和6年3月末日時点

※①～③は静岡県発明協会の知財総合窓口支援担当による相談件数を含む

※指標件数は特許庁が設定した知財総合窓口支援事業の目標件数

8 はままつ知財研究会連携事業

決算額 一千円（予算額 一千円） <事務局受託>

【目的】

「はままつ知財研究会」が開催する知財に関する研究部会活動等の各種事業を事務局として支援するとともに、同研究会との連携により、地域企業の知財活動の向上と知財に関わる人材育成に取り組む。

【年度総括】

令和5年度は、総会で承認を得た事業計画に基づき、各種事業を実施した。知財問題研究部会（IP部会）については、節目となる第100回の開催を迎え、記念講演会として、知財をテーマとしたテレビドラマを監修された西野先生にご講演いただくとともに、合わせて交流会を開催し、会員同士の交流を大いに深めた。

また、企業の知財実務担当者が抱える課題等について意見交換を行う知財サロン塾に、地域の大手企業の知財責任者である知財経営塾メンバーがオブザーバー参加することで、課題の解決策のヒントや事例、経験を共有し、議論を行うことができた。

引き続き、本研究会がハブとしての役割を果たし、地域企業を横断した知財関係者のネットワーク構築や知財に関する共通テーマの研究や課題解決の議論の場を提供し、地域の知財活動のレベルアップを後押しする。

### 【実施内容】

「はままつ知財研究会」事務局として、同研究会の事業活動をサポートした。また、当財団の知財活用推進事業と連携することにより、地域企業の知財活動のレベルアップを図るとともに、知財に携わる人材の育成にも努めた。

#### (1) 総会

開催日：令和5年6月8日（火）※書面開催

内 容：令和4年度事業報告及び収支決算について

令和5年度事業計画案及び収支予算案について 等

#### (2) 幹事会

開催日：令和6年3月18日（月）

会 場：浜松商工会議所会館 会議室

内 容：令和5年度事業報告及び収支決算について

令和6年度事業計画案及び収支予算案について 等

#### (3) 知財問題研究部会（IP部会）

知的財産に関する法制度、判例、企業の知財活動などに関する研究及びディスカッションする場として「知財問題研究部会」を行った。

会 場：（公財）浜松地域イノベーション推進機構 セミナー室+WEB開催

対 象：会員企業の知財担当者、弁理士 等

進 行：IP部会長、IP部会員

内 容：IP部会長、IP部会委員を中心に協議し、企業の知財活動に関する各種テーマを取り上げるとともに、テーマに適した講師を選定し、講演と参加者による意見交換、ディスカッションを行った。

参加料：無料

参加者：各回30名程度

開催回	開催日	内容・講師
第97回	5月12日（金）	意匠・商標の知財ミックス 意匠から“ブランド”保護を考えてみる
		小西・中村特許事務所（愛知県名古屋市） 弁理士 中村 知公 氏
第98回	7月7日（金）	「モノからコトへ」時代の知財戦略
		神谷特許事務所（浜松市中区） 弁理士・中小企業診断士 神谷 直慈 氏
第99回	9月1日（金）	商標実務者必聴！国内外商標の最新事情や実務、法改正動向
		小西・中村特許事務所（愛知県名古屋市） 弁理士 前田 大輔 氏
第100回	11月10日（金）	記念講演会「これってパクリじゃないですよ」

		西野特許事務所（兵庫県神戸市） 所長 弁理士 西野 卓嗣 氏
第 101 回	1 月 12 日（金）	他社との連携におけるトラブル事例と情報管理・契約のポイント (静岡市) 1 級知的財産管理士 中村 仁 氏
第 102 回	3 月 1 日（金）	生成 AI 特許セミナー ～生成 AI 技術と生成 AI 特許の勘所～ 河野特許事務所（大阪府大阪市） 所長 弁理士 河野 英仁 氏

(4) 知財経営研究部会（CIPO 部会）

企業の経営者、知財部門責任者が抱えている課題や悩み等について、意見・情報交換、ディスカッションする場として「知財経営塾」を行った。

会 場：（公財）浜松地域イノベーション推進機構 会議室

対 象：企業の知的財産部門の責任者 等

進 行：CIPO 部会長、知財コーディネーター 石井 勉

参加料：無料

参加者：3 社程度

開催回	開催日	内容
第 16 回	8 月 22 日（火）	特許等の係争対応（国内・海外）に関する情報・意見交換
第 17 回	10 月 11 日（水）	知財戦略 知財部員の人材育成 (知財サロン塾との合同開催)
第 18 回	12 月 12 日（火）	商標の出願タイミング 技術・ノウハウ流出防止 (知財サロン塾との合同開催)
第 19 回	2 月 28 日（水）	カタログ・製品への特許表示 知財担当者のフィールド（文系・理系） 社内の知財教育 (知財サロン塾との合同開催)

(5) 知財サロン塾

企業の知財実務担当者が抱えている課題や悩み等について、意見・情報交換、ディスカッションする場として「知財サロン塾」を行った。

会 場：（公財）浜松地域イノベーション推進機構 セミナー室

対 象：中小企業等の知財担当者

講 師：知財コーディネーター 石井 勉

参加料：無料

参加者：6 社程度

開催回	開催日	内容
第 23 回	10 月 11 日（水）	知財戦略 知財部員の人材育成
第 24 回	12 月 12 日（火）	商標の出願タイミング 技術・ノウハウ流出防止

第 25 回	2 月 28 日 (火)	カタログ・製品への特許表示 知財担当者のフィールド (文系・理系) 社内の知財教育
--------	--------------	---

## 9 特許等出願支援補助事業

決算額 44,000 円 (予算額 44 千円)

<浜松市受託>

### 【目的】

浜松地域の中小企業の特許等の出願を促進することにより、中小企業の産業財産権を活用した事業展開を支援し、浜松地域の産業振興を図る。

### 【年度総括】

令和 5 年度の本補助事業については、公募を 3 回実施し、審査委員会等の各種準備を行った。過去に、国内・海外の特許出願費補助金を活用した企業が令和 5 年 10 月に呼吸器系ウイルス感染症のリスク可視化を目的とする空間内の空気環境等をリアルタイムモニタリングするシステムの販売を開始するなど着実に地域企業の商品開発に寄与している。

引き続き、知的財産権の取得を支援しながら、補助事業の効果が最大となるように個別フォローを継続していく。

### 【実施内容】

浜松市内の中小企業、個人事業主の国内における特許出願、実用新案出願、意匠出願及び海外における特許出願、実用新案出願、意匠出願、商標出願に対し、浜松市が出願に係る経費の一部を補助するための準備業務及び個別フォローを行った。

#### (1) 特許等出願費補助金

公募期間：[1 次] 令和 5 年 4 月 10 日 (月) ～5 月 31 日 (水)  
：[2 次] 令和 5 年 7 月 18 日 (火) ～8 月 31 日 (木)  
：[3 次] 令和 5 年 9 月 20 日 (水) ～10 月 31 日 (火)

#### ア 国内出願補助金 (予算配分目安：1,500 千円)

対 象：浜松市内に本社機能を有する中小企業者、個人事業者及びそれら  
で構成される共同体  
補 助 率：1/2 以内  
補助金額：上限 150 千円  
対象経費：出願手数料、弁理士費用

#### イ 海外出願補助金 (予算配分目安：2,500 千円)

対 象：浜松市内に本社機能を有する中小企業者、個人事業者及びそれら  
で構成される共同体  
補 助 率：1/2 以内  
補 助 額：上限 500 千円  
対象経費：外国特許庁への出願手数料、国内・現地代理人費用、翻訳費用  
先行技術調査費用など

申請件数：[1 次] 国内 8 件、海外 1 件  
[2 次] 国内 5 件、海外 2 件  
[3 次] 国内 4 件、海外 0 件

採択件数：[1 次] 国内 8 件、海外 1 件 ※うち 1 件事業中止  
[2 次] 国内 4 件、海外 2 件 ※うち 1 件事業中止  
[3 次] 国内 4 件、海外 0 件

交付決定額：[1次] 国内 1,200 千円（8 件）、海外 500 千円（1 件）

[2次] 国内 517 千円（4 件）、海外 514 千円（2 件）

[3次] 国内 597 千円（4 件）、海外 0 千円（0 件）

交付確定額：[1次] 国内 973 千円（7 件）、海外 499 千円（1 件）

[2次] 国内 367 千円（3 件）、海外 512 千円（2 件）

[3次] 国内 597 千円（4 件）、海外 0 千円（0 件）

< 交付確定企業一覧（国内） >

（単位：円）

1次	採択企業名	種別	申請内容	交付確定額
1	(株)ファクトリーイン プループメント (浜松市西区)	特許	節を貫通した麦わらストロー	150,000
2	(株)ドローンセンセー ション (浜松市中区)	特許	ドローンタワー	150,000
3	Re-CreaSor Labo (浜松市中区)	特許	センサ制御装置及びセンサ制 御方法	150,000
4	三野達也 (浜松市中区)	特許	静電気除去具	150,000
5	イノベータータイプ・デ ザイン&テクノロジー 一(株) (浜松市浜北 区)	特許	電解殺菌水製造装置	150,000
6	(株)池戸溶接製作所 (浜松市中区)	特許	コーン設置装置及びコーン回 収装置	150,000
7	(株)ROKI (浜松市天竜区)	特許	自動二輪車のスタート装置	73,000
計				973,000

2次	採択企業名	種別	申請内容	交付確定額
1	モリマーキャストイ ング(株) (浜松市北 区)	特許	熱硬化樹脂成型体	127,000
2	ヤマキ種苗園 (浜松市浜北区)	特許	陰樹の栽培方法	150,000
3	(株)イハラ製作所 (浜松市北区)	意匠	炒飯用羽窯鍋	90,000
計				367,000

3次	採択企業名	種別	申請内容	交付確定額
1	(株)アイ・アンド・プ ラス (浜松市北区)	特許	照度計、情報提示方法及び情報 提示プログラム	150,000
2	中山電気保安管理事 務所 (浜松市中区)	特許	自家用電気工作物の事故情報 遠隔監視システム	147,000
3	(有)太悦鉄工 (浜松市 東区)	特許	帯鋸ヤリ取り具	150,000

4	(株)GEE (浜松市西区)	特許	光学特性測定装置	150,000
計				597,000

< 交付確定企業一覧 (海外) >

(単位:円)

1次	採択企業名	種別	申請内容	交付確定額
1	やまと興業株 (浜松市浜北区)	特許	ケーブル装置	499,000
計				499,000

2次	採択企業名	種別	申請内容	交付確定額
1	(有)池谷製作所 (浜松市中区)	特許	仮想空間における移動を操作する家具型機器	488,000
2	newhill.co (浜松市中区)	商標	OTS	24,000
計				512,000

【成果指標】

項目	実績		指標
	令和4年度※1	令和5年度※2	令和5年度
特許出願件数 (国内)	7件	13件	10件

項目	令和4年度※1	令和5年度※2	
特許出願総数 (国内) ※3	101件	114件	
特許出願登録件数 (国内) ※3	51件	58件	

※1: 令和5年3月末日時点、※2: 令和6年3月末日時点

※3: 特許等出願支援補助事業の出願登録件数は、平成25年度からの累計

## 5 【学ぶ】 人材育成支援

### 10 製造中核人材育成事業

決算額 2,510,267 円（予算額 2,623 千円） < 県補助・8 市町負担金 >

#### 【目的】

地域の基盤製造技術を体系的に理解し、前後の工程等を見通した現場マネジメントを担うことができる中核人材を育成する。

#### 【年度総括】

令和5年度は、コロナ禍以前のカリキュラムにより、「製造中核人材育成講座」を4年ぶりに再開した。ただし、新型コロナウイルス感染症対策と従来講座の課題であった工場見学時の安全性確保等を目的に、定員を以前の半分の15名として実施した。また、カリキュラムの協力企業も一部変更し、従来カリキュラムで取り上げていなかった輸送用機器部品の製造知識を習得する講座を新たに加えた。

次年度も、知識習得だけでなく、受講生や協力企業のネットワーク構築の促進や受講企業のフォローアップを実施していくとともに、受講生のアンケート結果や協力企業のヒアリングをもとに運営委員会で協議し、次年度のカリキュラムに反映する。

#### 【実施内容】

浜松地域の輸送用機器産業を中心とした基盤製造技術の座学と現場見学や現場実習をセットにしたスタイルで講座を行った。

##### (1) 製造中核人材育成講座

開催日：令和5年6月1日(木)～11月20日(月) < 全24回 >

会場：スズキ歴史館（浜松市南区）、愛知製鋼(株) 知多工場（愛知県東海市）、ヤマハ発動機(株)（磐田市）、(株)木村鋳造所 御前崎工場（御前崎市）、浜松商工会議所会館、藤本工業(株) 根洗工場（浜松市北区）、浜松工業技術支援センター、スズキ(株) 相良工場（牧之原市）、西誠(株)（浜松市西区）、(株)豊田自動織機 高浜工場（愛知県高浜市）、浜松ガスケツト(株)（浜松市浜北区）、(有)見野金型製作所（浜松市中区）、(株)山田 豊田工場（磐田市）、(株)丸山コーポレーション（浜松市南区）、ポリテクカレッジ浜松、(株)桜井製作所（浜松市東区）、トクラス(株)（浜松市西区）、イオ インダストリー(株)（湖西市）、浜松熱処理工業(株) 細江工場（浜松市北区）等

内容：特徴ある地域企業等の現場見学

受講料：[県西部地域] 50,000 円、[県西部地域外] 100,000 円

参加者：15 社 15 名（定員：15 名、申込：15 名）

[県西部地域] 15 社 15 名、[県西部地域以外] 一社一名

##### (2) 令和5年度「製造中核人材育成講座」運営委員会

開催日：令和6年1月19日（金）

会場：（公財）浜松地域イノベーション推進機構 セミナー室

内容：令和5年度の活動報告、意見交換 等

参加者：スズキ(株)、(株)山田、静岡県工業技術研究所

**【成果指標】**

項目	実績		指標
	令和4年度※1	令和5年度※2	令和5年度
「製造中核人材育成講座」受講者数	一名	15名	20名
「製造中核人材育成講座」受講者満足度	－%	100%	90%以上

※1：令和5年3月末日時点、※2：令和6年3月末日時点

**1 1 現場力向上人材育成事業**

決算額 2,772,607 円（予算額 3,373 千円） <県補助・8市町負担金>

**【目的】**

生産リードタイム短縮や生産性向上等の現場力強化に必要な現場改善について体系的に理解し、現場マネジメントを担い得る中核人材を育成する。

**【年度総括】**

令和5年度は、各種セミナーを通じて現場の生産性向上に関する啓発を促すとともに、具体的な現場改善の手法を学ぶスクールや実践講座、「製造原価から見る業務改善セミナー」を開催し、現場改善と製造原価の関係性の理解と改善活動の意義を認識する講座を追加した。また、同様に今年度から新規事業として始めた「実践品質管理講座」では、定員を上回る申込みがあり、地域企業の実践的な品質管理手法への関心が伺えた。

次年度も、現場改善の啓発や具体的な手法などに係る実践的な講座を開催するとともに、受講者へのフォローアップも含めて、各企業の生産性向上を推進していく。

**【実施内容】**

現場力向上に必要な基礎的な現場改善知識や生産性の向上、DXのあり方などに対応するためのセミナーや講座を開催した。また、製造現場における現場改善等を推進するための専門家を派遣し、伴走型の支援を行った。

(1) 現場改善の重要性啓発

ア 中小企業のための現場改善セミナー

開催日：令和5年5月16日（火）

会場：グランドホテル浜松

講師：①アステリア㈱（東京都渋谷区）

社長付 地域創成エバンジェリスト 松浦 真弓 氏

②関ものづくり研究所（浜松市北区）代表 関 伸一 氏

内容：①「DXはじめの一步を現場から ～ノーコード活用のススメ～」

②「製造業の現場改善ステップ！ 強い工場の作り方」

参加料：[県西部地域] 無料、[県西部地域外] 1,000 円

参加者：30社38名（定員：50名、申込：41名）

[県西部地域] 29社37名、[県西部地域外] 1社1名

イ 現場目線のDX推進セミナー

開催日：令和5年7月25日（火）

会場：グランドホテル浜松

講師：①ヤマハ㈱（浜松市中区）楽器・音響生産本部 生産企画統括部

企画推進部 スマートファクトリー推進グループ

リーダー 宮田 智史 氏

②名倉 IT 経営研究所 (掛川市) 代表 名倉 真史 氏

内 容 : ①楽器工場のデジタル技術を活用したものづくり DX  
②Chat GPT で何ができるか

～大規模言語モデルの仕組みと注意点～

受講料 : [県西部地域] 無料、[県西部地域外] 1,000 円

参加者 : 33 社 43 名 (定員 : 100 名、申込 : 50 名)

[県西部地域] 30 社 40 名、[県西部地域外] 3 社 3 名

## (2) 改善の基礎知識習得

ア 高付加価値の現場をつくる改善推進スクール (全 5 回)

開催日 : 令和 5 年 7 月 7 日 (金)、14 日 (金)、21 日 (金)、28 日 (金)、  
8 月 4 日 (金)

会 場 : (公財) 浜松地域イノベーション推進機構 セミナー室  
浜松商工会議所会館 会議室

講 師 : 関ものづくり研究所 (浜松市北区) 代表 関 伸一 氏

内 容 : トヨタ生産方式を中心とした現場改善に係る基礎的講座

受講料 : [県西部地域] 10,000 円、[県西部地域外] 20,000 円

参加者 : 10 社 14 名 (定員 : 20 名、申込 : 14 名)

[県西部地域] 9 社 13 名、[県西部地域外] 1 社 1 名

イ 製造原価から見る業務改善セミナー

開催日 : 令和 5 年 7 月 27 日 (木)

会 場 : (公財) 浜松地域イノベーション推進機構 セミナー室

講 師 : マーケティング経営研究所 (静岡市) 代表 西畑 隆久 氏

内 容 : 製造原価の基礎、グループワーク 等

受講料 : [県西部地域] 3,000 円、[県西部地域外] 6,000 円

参加者 : 10 社 11 名 (定員 : 20 名、申込 : 12 名)

[県西部地域] 10 社 11 名

ウ 実践品質管理講座 (①初級編・②中級編×各 2 日間)

開催日 : ①令和 5 年 9 月 15 日 (金)、22 日 (金)

②令和 5 年 12 月 1 日 (金)、8 日 (金)

会 場 : (公財) 浜松地域イノベーション推進機構 セミナー室

講 師 : 関ものづくり研究所 (浜松市北区) 代表 関 伸一 氏

内 容 : 製造現場の品質管理における基礎的講座

受講料 : [県西部地域] 5,000 円、[県西部地域外] 10,000 円

参加者 : ①14 社 21 名 (定員 : 20 名、申込 : 21 名)

[県西部地域] 13 社 19 名、[県西部地域外] 1 社 2 名

②12 社 16 名 (定員 : 12 名、申込 : 16 名)

[県西部地域] 12 社 16 名

エ 3D ものづくり実践講座 (全 3 回)

開催日 : 令和 5 年 10 月 6 日 (金)、20 日 (金)、11 月 24 日 (金)

会 場 : (公財) 浜松地域イノベーション推進機構 セミナー室

講 師 : Material 工房 テクノフレキス (長野県上伊那郡)

代表 藤崎 淳子 氏

内 容 : Fusion360 の復習、シートメタル機能の基本と演習、形状設計に係

わる加工基礎、製品設計、アセンブリ機能と基本ジョイント 等  
 受講料：[県西部地域] 11,000 円、[県西部地域外] 22,000 円  
 参加者：8 社 9 名（定員：15 名、申込：9 名）  
 [県西部地域] 8 社 9 名、[県西部地域外] 一社一名

(3) 改善実践支援

生産性向上に向けた現場改善や新規取引先開拓に向けたデジタルマーケティング等の相談に対応するため専門家を派遣した。

実施期間：令和 5 年 6 月～令和 6 年 2 月

派遣内容：ISO9001・14001 取得、生産性改善、製品開発

派遣料金：@15,000 円（@最大 5 回）

派遣企業：3 社 17 回

(4) 現場改善ワークショップ

ものづくり現場の現場改善を通じて、企業体質の強化や客先への提案力の向上を図るため、「5S・生産管理・在庫管理・品質管理」の基礎を学ぶ講座を行った。また、専門家による個別ワークショップも行った。

開催日：令和 5 年 12 月 1 日（金）

会 場：浜松商工会議所会館 10 階 BC 会議室

受講料：無料

参加者：1 社（定員：1 社）

(5) ものづくり製造業のための DX セミナー

開催日：令和 6 年 3 月 7 日（木）

会 場：Co-startup Space & Community FUSE

講 師：①経済産業省 関東経済産業局 デジタル経済課（埼玉県さいたま市）  
 課長 横川 博司 氏

②キャディ(株) DRAWERS 事業本部（東京都台東区）  
 無漏田 孝志 氏

内 容：①地域企業におけるデータ活用促進について

②10 年先の未来を創る、今求められる製造業の DX とは

参加料：[市内] 1,000 円、[市外] 2,000 円

参加者：23 社 35 名（定員：30 名、申込：37 名）

[市内] 18 社 21 名、[市外] 5 社 14 名

【成果指標】

項目	実績		指標
	令和 4 年度※1	令和 5 年度※2	令和 5 年度
現場改善実践支援企業数	4 社	4 社	10 社
企業訪問数	8 社	7 社	30 社

※1：令和 5 年 3 月末日時点、※2：令和 6 年 3 月末日時点

1 2 企業力向上促進事業

決算額 859,142 円（予算額 1,208 千円）

< 県補助・8 市町負担金 >

【目的】

中小企業の持続的成長を促進するため、新分野・異分野への進出や下請け脱却を促

す製品・サービスの開発及び従業員のモチベーションアップ、デジタルの活用による経営体制の強化に必要な知識の習得を図る。

### 【年度総括】

令和5年度は、地域企業の新規事業展開や新製品開発による持続的な発展を促進するため、デジタル技術を活用したBtoBセミナーを開催した。本セミナーでは、デジタル化の著しい発展によって変化するBtoBにおける購買プロセスに対応するため、実践企業の事例を交えて開催した。今後は、セミナーに参加した企業を個別に訪問し、新規事業展開や新製品開発の課題抽出から具体的な取組へと支援を継続していく。

また、新規事業展開や新製品開発にも繋がるBtoCへの挑戦を促すセミナーや、従業員の働きがい向上、DX人材の育成、バックオフィスのDXに関するセミナーやフォローアップを通じて、中小企業の新しい取り組みや組織体制の強化を図り、企業力向上に繋げる取り組みを実施した。

### 【実施内容】

中小製造業者の新分野・異分野への進出や下請け脱却に必要な製品・サービスの開発を促進するため、BtoB・BtoCにおける商品企画やマーケティング等の専門的知識を習得するセミナーや従業員が新たなスキルを身につけ、モチベーションアップやスキルアップによる働きがい高めるための講座等を行った。

#### (1) 自社製品の必要性啓発

##### ア 売れる・儲けるBtoBセミナー

開催日：令和5年5月18日（木）

会場：グランドホテル浜松

講師：㈱Japan IT Produce（静岡市） 代表取締役 長谷川 徹 氏  
㈱プラポート／㈱REVOX（静岡市） 代表取締役 宮季 高正 氏  
㈱松下工業（磐田市） 専務取締役 松下 晴彦 氏

内容：デジタル技術を活用したBtoBビジネスを加速させる秘訣を、実践企業の事例を交えて紹介

参加料：[県西部地域] 無料、[県西部地域外] 1,000円

参加者：18社25名（定員：50名、申込：28名）

[県西部地域] 18社25名、[県西部地域外] 一社一名

##### イ BtoC チャレンジ啓発セミナー

開催日：令和6年3月28日（木）

会場：ホテルクラウンパレス浜松

講師：㈱キャストム（広島県福山市） 新規事業本部 池田 真一 氏

内容：BtoC製品開発の手順、注意点、事例紹介 など

参加料：[県西部地域] 無料、[県西部地域外] 1,000円

参加者：23社28名（定員：50名、申込：32名）

[県西部地域] 20社24名、[県西部地域外] 3社4名

##### ウ 中小ものづくり企業のための”働きがい”の高め方セミナー

開催日：令和6年2月27日（火）

会場：WEB開催

講師：Great Place To Work® Institute Japan（東京都港区）  
シニアコンサルタント 今野 敦子 氏

内 容：働きがいのある会社・職場のつくり方、特に中小製造業におけるポイントを、実践事例を交えながら学ぶ  
 受講料：[県西部地域] 無料、[県西部地域外] 1,000 円  
 参加者：34 社 36 名（定員：100 名、申込：50 名）  
 [県西部地域] 33 社 35 名、[県西部地域外] 1 社 1 名

(2) DX 人材リスキリングセミナー

開催日：令和 5 年 11 月 30 日（木）  
 会 場：（公財）浜松地域イノベーション推進機構 セミナー室  
 講 師：名倉 IT 経営研究所（掛川市） 代表 名倉 真史 氏  
 内 容：社員自らが新たな価値を生み出すために必要なスキルの習得を促進するため、企業におけるリスキリングの手法や事例等を解説  
 受講料：[県西部地域] 無料、[県西部地域外] 1,000 円  
 参加者：9 社 13 名（定員：20 名、申込：17 名）  
 [県西部地域] 9 社 13 名

(3) ムダをなくしてデジタル業務効率化！～バックオフィス業務編～

開催日：令和 6 年 1 月 15 日（月）  
 会 場：WEB 開催  
 講 師：（独）中小企業基盤整備機構中部本部（愛知県名古屋）  
 シニア中小企業アドバイザー 鈴置 嵩浩 氏  
 内 容：デジタル化による業務効率化を進める上でのポイント、コストを抑えたデジタル化による業務効率化の実践事例、業務効率化にとどまらないビジネス競争力の強化 など  
 受講料：[県西部地域] 無料、[県西部地域外] 1,000 円  
 参加者：44 社 64 名（定員：100 名、申込：82 名）  
 [県西部地域] 44 社 64 名

【成果指標】

項目	実績		指標
	令和 4 年度※1	令和 5 年度※2	令和 5 年度
製品化個別相談件数	一件	1 件	3 件
間接部門デジタル化支援企業数	一件	4 件	3 件

※1：令和 5 年 3 月末日時点、※2：令和 6 年 3 月末日時点

## 6【創る】新事業開発支援

### 13 新産業創出支援事業

決算額 10,334,315 円（予算額 11,790 千円） <浜松市受託>

#### 【目的】

市場ニーズに沿った製品・技術開発を推進するため、幅広い分野の情報収集やマッチングの機会を創出する。また、複合的な産業構造への転換をするため、浜松商工会議所等の産業支援機関と連携し、成長が見込まれる新たな産業分野への参入を促進させ、新たな成長産業の集積地を目指す。

#### 【年度総括】

令和5年度も“スマートものづくり”を促進させるため、社内のデジタル化を推進するセミナーやワークショップ等を開催し、セミナー参加企業へのフォローアップとして、専門家による個別伴走支援を実施するなど、ものづくり製造業者のデジタル化を加速させた。また、企業ごとのロボット・IoT・デジタル化等の課題に関しては、スマートものづくり支援デスクを中心として相談対応するとともに、「スマートファクトリー伴走支援」を行うなど、地域企業の課題に対して細やかに対応した。

引き続き、スマートものづくり支援デスクの技術コーディネーターを中心にロボット・IoT・デジタル化やエネルギー・原材料高騰等の影響による収益性の改善を図るための原価管理等の伴走支援を継続していく。

#### 【実施内容】

平成29年度から取り組んでいる「産業用ロボット」を大テーマとし、ロボットシステムインテグレータ（以下、SIer）や、ロボットを活用できる人材の育成に主眼を置き、生産性向上を課題としている企業やSIerの育成に取り組む中小企業を支援した。

また、専任のコーディネーターを配置し、デジタル、ロボット、IoTの導入等による生産性向上を支援するためのワンストップ相談窓口「スマートものづくり支援デスク」を中心に、中小製造業者の生産性向上に関する課題の相談対応や各支援機関への橋渡しを行った。

さらに、生産性向上による利益確保や原価計算による適切な価格設定など地域企業の物価高騰対策への支援を実施した。

#### (1) 啓発

##### ア ワンストップ相談窓口「スマートものづくり支援デスク」

場 所：（公財）浜松地域イノベーション推進機構及び企業の現場

内 容：生産性向上等の相談、地域支援機関等への紹介など

スタッフ：チーフデスク、技術コーディネーター1名、アドバイザー2名

連携機関：静岡県、浜松商工会議所（浜松ロボット産業創成研究会）、浜松地域中小ものづくり企業IoT化推進協議会、浜松テクノカレッジ、ポリテクカレッジ浜松、浜松工業技術支援センター など

相談実績：107件

（デジタル：75件、ロボット：10件、IoT：4件、生産性向上：18件）

技術連携マッチング：6件

ロボット・IoT導入支援：4件

##### イ 生産性向上につなげる“製造現場の利益”が見える化セミナー

開催日：令和5年5月26日（金）

会 場：Co-startup Space & Community FUSE

講師：(株)Japan IT Produce (静岡市) 代表取締役 長谷川 徹 氏  
内容：原価管理等をテーマに、経営課題と現場課題を管理会計と現場改善活動の繋がりから学ぶ  
受講料：[市内] 無料、[市外] 1,000 円  
参加者：27 社 40 名 (定員：100 名、申込：40 名)  
[市内] 22 社 31 名、[市外] 5 社 9 名

ウ ものづくり企業向けデジタル経営セミナー

開催日：①令和 5 年 9 月 20 日 (水)  
②令和 5 年 10 月 11 日 (水)  
③令和 5 年 11 月 15 日 (水)

会場：グランドホテル浜松

講師：(株)Japan IT Produce (静岡市) 代表取締役 長谷川 徹 氏

内容：①デジタル時代の生産性向上により、ビジネスはどう変わる  
3 年後、5 年後を想定したデジタル技術活用のメリットと取り組まないことで生じるリスクを徹底解説！  
②デジタル活用に必要な知識を学ぶ、デジタル活用人材の育成方法について  
③デジタル化推進のロードマップを知り、自社のアクションプランを設定する

受講料：[市内] 無料、[市外] 1,000 円

参加者：①26 社 30 名 (定員：30、申込：30 名)  
[市内] 21 社 24 名、[市外] 5 社 6 名  
②25 社 28 名 (定員：30 名、申込：28 名)  
[市内] 22 社 24 名、[市外] 3 社 4 名  
③20 社 25 名 (定員：30 名、申込：25 名)  
[市内] 17 社 21 名、[市外] 3 社 4 名

<セミナー参加者へのアフターフォロー>

自社のデジタル化を効率的に実装するため、専門家によるアフターフォローを実施し、個々の目的・内容・課題にあった伴走支援を行った。

- ・伴走支援：9 社
- ・デジタル化導入：1 社

エ スマートファクトリー化伴走支援

ものづくり製造業のスマートファクトリー化を進める伴走支援を行った。

開催日：通年

対象：生産性向上セミナー参加企業、スマートファクトリー化を推進したい企業等

支援企業：1 社 (古田工業(株) (浜松市浜北区))

オ IoT・ロボット導入企業現場見学会

開催日：令和 6 年 2 月 7 日 (水)

会場：渥美浜北株式会社 (浜松市浜名区) 都田工場

内容：渥美浜北株式会社 企業紹介、工場案内  
株式会社ゴードーソリューション 企業紹介、サービス紹介  
株式会社ティーエス 企業紹介、サービス紹介

参加料：[市内] 1,000 円、[市外] 2,000 円

参加者：9社10名（定員：10名、申込：10名）  
[市内] 5社5名、[市外] 4社5名

(2) 人材育成

ア 産業用ロボット教示スクール（全2回）

開催日：①令和5年4月19日（水）、20日（木）  
②令和5年6月21日（水）、22日（木）  
③令和5年8月23日（水）、24日（木）  
④令和5年10月18日（水）、19日（木）  
⑤令和5年12月20日（水）、21日（木）  
⑥令和6年2月21日（水）、22日（木）

会場：㈱東洋鐵工所（浜松市東区）

共催：浜松テクノカレッジ（静岡県立浜松技術専門学校）

後援：浜松商工会議所、ロボット産業創成研究会

内容：産業用ロボットに関する知識と操作方法  
産業用ロボットの教示作業の知識と操作

受講料：20,000円

参加者：① 12社12名（定員：12名、申込：12名）  
[市内] 6社6名、[市外] 6社6名  
② 11社12名（定員：12名、申込：12名）  
[市内] 6社6名、[市外] 5社6名  
③ 12社12名（定員：12名、申込：12名）  
[市内] 6社6名、[市外] 6社6名  
④ 12社12名（定員：12名、申込：12名）  
[市内] 8社8名、[市外] 4社4名  
⑤ 11社11名（定員：12名、申込：12名）  
[市内] 9社9名、[市外] 2社2名  
⑥ 12社12名（定員：12名、申込：12名）  
[市内] 11社11名、[市外] 1社1名

イ ロボットシステム向け PLC 講習会（全2回）

開催日：①令和5年7月25日（火）、26日（水）  
②令和5年8月29日（火）、30日（水）

会場：浜松職業能力開発短期大学校（ポリテクカレッジ浜松）

講師：浜松職業能力開発短期大学校 講師 高桑 敬 氏

内容：PLC 概要・基礎、ロボットシステム制御の演習 等

受講料：[市内] 7,500円、[市外] 15,000円

参加者：①5社6名（定員：9名、申込：6名）  
[市内] 4社5名、[市外] 1社1名  
②5社6名（定員：9名、申込：6名）  
[市内] 5社6名、[市外] 1社1名

ウ ロボットプログラミング講習会（全2回）

開催日：令和5年6月26日（月）、27日（火）

会場：浜松職業能力開発短期大学校（ポリテクカレッジ浜松）

講師：浜松職業能力開発短期大学校 教授 水野 良彦 氏

内容：ロボットプログラミング概要・基礎

受講料：[市内] 9,500 円、[市外] 19,000 円  
参加者：2 社 3 名（定員：9 名、申込：3 名）  
[市内] 2 社 3 名、[市外] 一社一名

エ 製造業向け IoT 実践講習会

開催日：①令和 6 年 1 月 24 日（水）  
②令和 6 年 2 月 29 日（木）  
会 場：①（公財）浜松地域イノベーション推進機構 セミナー室  
②（公財）浜松地域イノベーション推進機構 セミナー室  
講 師：①(株)Japan IT Produce（静岡市）代表取締役 長谷川 徹 氏  
名倉 IT 経営研究所（掛川市）代表 名倉 真史 氏  
内 容：①IoT 基礎講習会 ～IoT 基礎講座・Raspberry Pi 体験会～  
②IoT 基礎講習会 ～生成 AI の活用～  
受講料：①[市内] 28,000 円、[市外] 56,000 円  
②[市内] 1,000 円、[市外] 2,000 円  
参加者：①9 社 9 名（定員：10 名、申込：9 名）  
[市内] 8 社 8 名、[市外] 1 社 1 名  
②11 社 12 名（定員：10 名、申込：12 名）  
[市内] 9 社 10 名、[市外] 2 社 2 名

(3) ビジネス連携

ア DX 連携ワークショップ（全 2 回）

開催日：令和 6 年 1 月 23 日（火）、30 日（火）  
会 場：浜松商工会議所会館 会議室  
内 容：地域企業の生産性向上や企業間連携を目的に、浜松地域のロボット  
メーカー、ロボット Sier、IT ベンダー、ユーザー企業が集まり、ス  
マートファクトリー化を目指すものづくり製造業の現場視点の課  
題解決手段等をディスカッションする。  
参加料：無料  
参加者：14 社 15 名（定員：20 名、申込：16 名）  
[市内] 11 社 12 名、[市外] 3 社 3 名

イ 異業種間交流コミュニティの形成支援

開催日：令和 6 年 3 月 14 日（木）  
対 象：DX 連携ワークショップ参加企業  
内 容：若手人材が仕事を通じてのキャリアアップについて考える  
参加料：無料  
参加者：3 社 8 名（定員：20 名、申込：8 名）  
[市内] 3 社 8 名、[市外] 一社一名

ウ 工程別課題解決ワークショップ

開催日：令和 6 年 2 月 14 日（水）  
会 場：（公財）浜松地域イノベーション推進機構 セミナー室  
内 容：ロボット導入時や導入後に問題を起こさないため、事前に自社の問  
題点・課題点を洗い出しスムーズな導入と導入後の稼働を目指す  
参加料：[市内] 2,500 円、[市外] 5,000 円  
参加者：8 社 10 名（定員：12 名、申込：11 名）  
[市内] 5 社 6 名、[市外] 3 社 4 名

#### (4) 伴走支援

##### ア 原価管理伴走支援

生産性向上に向けた原価計算による適切な価格設定を支援するため、これまで原価計算の経験がない企業に対して「製造原価の計算方法」の支援を行った結果、これまで漠然としていた各商品の採算性の見える化が実現できた。

##### イ デジタルトランスフォーメーション伴走支援

企業のDX推進、データ活用人材の育成を支援するため、地域企業の社内業務がアナログ化により非効率・属人化などの課題をデジタル化により解決する取り組みを支援した。

#### 【成果指標】

項目	実績		指標
	令和4年度※1	令和5年度※2	令和5年度
スマートものづくり支援デスク相談件数	83件	107件	100件
企業訪問数 ※延べ件数	108社	131社	100社
新規プロジェクト立上げ件数	1件	3件	1件以上
技術連携マッチング件数	6件	6件	5件
産業用ロボット・IoT導入企業数	3社	4社	3社

※1：令和5年3月末日時点、※2：令和6年3月末日時点

#### 1.4 新事業挑戦支援事業

決算額 7,896,900円（予算額 7,909千円） <浜松市受託>

##### 【目的】

市場ニーズに沿った製品・技術開発を推進するため、幅広い分野の情報収集やマッチングの機会を創出する。また、複合的な産業構造への転換をするため、浜松商工会議所等の産業支援機関と連携し、成長が見込まれる新たな産業分野への参入を促進させ、新しい成長産業の集積地を目指す。

##### 【年度総括】

令和5年度の新事業展開支援では、オープニングセミナーをはじめ、地域中小企業の新事業展開を実現できるように支援し、下半期には市内企業と市外企業のビジネスマッチングを実施した。3件が連携、5件が連携見込み・継続検討となった。

また、浜松市新事業挑戦事業費補助金では、上半期に公募を3回実施し、4件の採択につながった。採択企業の試作開発に対して進捗確認しながら引き続きフォローアップを継続していく。

##### 【実施内容】

新事業展開支援では、浜松市内中小ものづくり企業等への新事業展開の啓発及び、「浜松市 第2期はままつ産業イノベーション構想」で定める成長7分野において、技術課題・製品開発等のニーズを有する浜松市外企業（大手企業、中小企業、スタートアップ等）とのビジネスマッチングを支援することで、市内中小企業の新事業展開を促進した。

また、浜松市新事業挑戦事業費補助金では、浜松市が重点的な成長分野と位置付ける産業への新事業展開を促すため、浜松市が市内の中小企業者等に対し、製品開発における一次試作開発費の一部を補助し、財団は本事業の準備業務（補助金公募広報、申請受付、審査会運営、フォローアップ等）を行った。

(1) 新事業展開マッチング支援事業

浜松市内企業のコア技術を活かした新事業展開や新規顧客開拓を促進するため、市外企業とのビジネスマッチングを支援した。

・新事業挑戦支援事業オープニングセミナー

開催日：令和5年8月9日（水）

会場：アクトシティ浜松 コンgressセンター

内容：新事業展開マッチング支援事業説明、パネルディスカッション

講師：(株)リバネス（東京都新宿区）代表取締役 CEO 丸 幸弘 氏

(株)ベラウェア（千葉県千葉市）代表取締役 CEO 関 弘圭 氏

対象：市内ものづくり製造業の経営者など

参加料：無料

参加者：29社35名（定員：30名、申込：27名）

[市内] 24社30名、[市外] 5社5名

・浜松市内中小企業×市外企業のマッチング機会創出（2回）

開催日：①令和5年12月9日（土）、②令和6年2月1日（木）

会場：①豊橋サイエンスコア

②Co-startup Space & Community FUSE

内容：①基調講演：オープンイノベーション

スタートアップによるピッチイベント

②対談：製造業の新事業展開におけるグローバル化のススメ

日本企業との連携を目指す海外企業のピッチ

対象：新事業展開に前向きな企業

参加者：①51社100名

②16社16名

(2) 浜松市新事業挑戦事業費補助金（市予算：3,000千円）

浜松市が成長分野に位置づけている7分野（次世代輸送用機器、健康・医療、新農業、環境・エネルギー、光・電子、デジタル、ロボティクス）について新事業展開を目指す浜松市内の中小企業者に対し、浜松市が製品開発における一次試作開発費に係る経費の一部を補助するための補助金申請事務局業務を行った。

公募期間：[1次] 令和5年2月24日（金）～3月31日（金）

：[2次] 令和5年6月1日（木）～6月30日（金）

：[3次] 令和5年8月1日（火）～8月31日（木）

対象：市内に本社機能を有する中小企業者又は市内に本社機能を有する中小企業者2者以上の者で組織された共同体

補助率：1/2

補助額：上限1,000千円

対象経費：原材料・部品等購入費、開発設計費、外注委託費、技術指導購入費、借損料、消耗品費等

事業期間：交付決定後～令和6年2月29日（木）

申請件数：[1次] 1件、[2次] 2件、[3次] 2件

採択件数：[1次] 0件、[2次] 2件、[3次] 2件 ※うち1事業中止

交付決定額：[2次] 1,755,000円（2件）、[3次] 1,567,356円（2件）

交付確定額：[2次] 703,415円（1件）、[3次] 1,422,258円（2件）

< 交付確定企業一覧 >

(単位:円)

1	企業名	Rockwell (同) (浜松市南区)	交付確定額	703,415
	[成長7分野] ロボティクス			
	[事業名] 自走式飛散防除ネットの開発			
	[製造・生産技術等] ロボット・オートモービル技術			
[成果と今後] 自走式飛散防除ネット(Robonet)の操作用リモコンの量産試作を行った。型式認定を取得して2025年から販売開始を計画している。				
2	企業名	鈴木ソフトラボラトリー (同) (浜松市中区)	交付確定額	653,024
	[成長7分野] デジタル			
	[事業名] VTeacher ケアテック (生成AIを基盤にした発達障害自動支援向けの福祉系技術サービス)			
	[製造・生産技術等] 生成系AI			
[成果と今後] 生成系AIを基盤にした発達障がい児支援のソフトウェアを開発した。ソフトウェアのテストと発達障がい児支援士による最終検査を済ませ、製品化に向けた準備を進める。				
3	企業名	(株)ジーアクト (浜松市浜北区)	交付確定額	769,234
	[成長7分野] デジタル			
	[事業名] 工場内エア漏れ検知システムの開発			
	[製造・生産技術等] 流量センサー、IoT 端末			
[成果と今後] 工場内エア漏れ検知システムを開発した。運用テストを続けてデータを蓄積し展示会等で市場の声を拾いシステム販売を目指していく。				
合計				2,125,673

15 カーボンニュートラル対策促進事業

決算額 183,811 円 (予算額 400 千円)

< 浜松市受託 >

【目的】

国は、2050年までにカーボンニュートラル(脱炭素社会)の実現を目指すことを宣言しており、輸送用機器産業の集積地である本地域においても、サプライチェーンをはじめとした中小企業の製造時CO2削減に向けた対応が喫緊の課題となっている。このことから、まずは検討すべき課題や活動方針のあり方などについて学ぶ機会を設け、地域中小企業の取り組みを促進する。

【年度総括】

令和5年度は、カーボンニュートラルに対する関心を高めるため、まずはコスト削減のための省エネにフォーカスしたセミナーを開催し、それを契機として個別企業に対する具体的な支援につなげた。さらに、浜松市が中心となって取り組む環境省「地域ぐるみでの脱炭素経営支援体制構築モデル事業」のコンソーシアムに参画し、コンソーシアム事業の一環として当財団の運用する専門家派遣制度を活用することで、地域企業の省エネ・カーボンニュートラルの状況を把握するとともに支援体制づくりを進めた。

【実施内容】

(1) コスト削減のための省エネセミナー (カーボンニュートラル入門編)

開催日: 令和5年5月23日(火)

会 場：グラントホテル浜松

講 師：(株)ティムネット（愛知県刈谷市） パートナース 当麻 満男 氏

<地域企業の取り組み>

(株)ジーアクト（浜松市浜北区） 代表取締役 堀内 康博 氏

遠州工業(株)（浜松市南区） 代表取締役 石井 幹人 氏

<特別講演>

日立建機(株)（茨城県土浦市）

研究・開発本部オープンイノベーション推進室

主任技師 西口 仁視 氏

内 容：①講演／省エネ活動の進め方 ～設備投資なしでの始め方～

②事例紹介／地域企業の取り組み事例

③特別講演／オープンイノベーションでカーボンニュートラルに挑む

参加料：[市内] 無料、[市外] 1,000 円

参加者：48 社 67 名（定員：20 名、申込：73 名）

[市内] 43 社 59 名、[市外] 5 社 8 名

セミナー開催後の個別支援企業：3 社

## (2) 浜松市「地域ぐるみでの脱炭素経営支援体制構築モデル事業」

浜松市が中心となって下記の参画機関からなるコンソーシアムを構成し、地域ぐるみで脱炭素経営支援体制を構築する事業計画が環境省の募集したモデル事業に採択され、地域企業の状況を把握及び支援体制づくりを進めた。当財団としては、専門家による支援など、地域企業の脱炭素経営を促進する役割を担っていく。

実施期間：令和 5 年 8 月～令和 6 年 2 月まで

参画機関：浜松市、（公財）浜松地域イノベーション推進機構、浜松商工会議所、浜松新電力、静岡銀行、浜松いわた信用金庫、遠州信用金庫

<当財団の主な実施事項>

### ① 中小企業脱炭素経営実態調査に基づく企業ヒアリングの実施

→ヒアリング実施【6 社】：(株)大場鋳造所（浜松市中央区）、(株)高田（浜松市中央区）、(株)杉山製作所（浜松市中央区）、(有)鈴宏鉄工所（浜松市中央区）、アルファテクニカ(株)（浜松市中央区）、浜松熱処理工業(株)（浜松市中央区）

### ② カーボンニュートラル専門家登録の拡充、中小企業への専門家派遣

→専門家登録【5 名】：(株)鈴木スプリング製作所（浜松市中央区）、アルファテクニカ(株)（浜松市中央区）へ専門家派遣を実施

### ③ 次年度以降の浜松地域での支援体制の構築

→当財団は令和 6 年度、浜松市から「中小企業脱炭素経営支援事業」を受託し、脱炭素経営支援員を財団内に配置した上で、常設相談窓口の運用や各種セミナー等を実施予定

## 16 サイバーセキュリティ対策促進事業

決算額 178,710 円（予算額 400 千円） <浜松市受託>

### 【目的】

企業に対するサイバー攻撃の高度化・巧妙化が進む中、大企業のみならずサプライチェーンを構成する中小企業もサイバー攻撃の脅威にさらされている。本地域に集積

するサプライチェーンに対し、サイバーセキュリティに関する対策強化を図る。

#### 【年度総括】

令和5年度は、企業に対するサイバー攻撃の高度化・巧妙化が進む中、サプライチェーンにおけるサイバーセキュリティ対策強化を図るため、サイバーセキュリティ対策の基礎的な知識やリスク対策に必要な考え方を解説するセミナーを開催した。

併せて、セミナー終了後、個別相談会も実施し2社の相談希望者に対して講師がアドバイスした。

引き続き中小企業に対するサイバーセキュリティ対策の必要性の周知を図っていく。

#### 【実施内容】

##### (1) 中小企業サイバーセキュリティ対策セミナー

開催日：令和6年3月4日（月）

会 場：ホテルクラウンパレス浜松

講 師：①トレンドマイクロ㈱（愛知県名古屋市）

シニアアカウントマネージャー 井戸口 英明 氏

②（一社）日本損害保険協会中部支部（愛知県名古屋市）

事務局長 三村 雅彦 氏

内 容：①「サイバー攻撃から自社を守るためにこれからどんな行動を起こせばよいか？事業継続に安心と安全を」

②「企業を取り巻くリスクと損害保険」

参加料：[浜松市内] 無料、[浜松市外] 1,000 円

参加者：17社19名（定員：各50名、申込：23名）

[市内] 14社16名、[市外] 3社3名

個別相談会：2社

## 1.7 競争的資金活用支援事業

決算額 123,677,627 円（予算額 131,427 千円）＜県補助・8市町負担金・国補助＞

#### 【目的】

地域中小企業の新技術開発促進や経営基盤強化のため、国、県、市町等の各種競争的資金の獲得、運用、事業化等を支援する。

#### 【年度総括】

令和5年度は、年度当初に補助金獲得セミナーを開催し、各種補助金の活用促進を図ったほか、Go-Techの事業管理機関として、令和4年度採択4件の事業管理を実施した。引き続き残り1年間の事業期間を通じて、事業管理機関として、地域中小企業の基盤技術高度化とそれを基にした事業化を支援した。

#### 【実施内容】

中小企業の新事業や新製品開発創出に向け、Go-Techをはじめ、ものづくり補助金、経営革新事業等の競争的資金獲得を支援するため、セミナーを行った。

また、競争的資金獲得に向けたイノベーションアクション支援を個別に実施し、技術的課題を抱えている中小企業に対して伴走支援を行った。

##### (1) 競争的資金獲得支援

ア 補助金獲得支援セミナー

開催日：令和5年4月14日（金）

会 場：グランドホテル浜松

内 容：①令和5年度の経済産業省・県・市・支援機関等の補助金制度紹介  
②個別相談会

参加料：[県西部地域] 無料、[県西部地域外] 1,000 円

参加者：73 社 82 名（定員：120 名、申込：124 名）

[県西部地域] 73 社 82 名

※参加企業のうち 16 社から相談希望があり、個別対応支援を行った。

イ 研究開発推進のための補助金活用セミナー

開催日：令和5年12月11日（月）

会 場：グランドホテル浜松

内 容：①研究開発型補助金の紹介等（関東経産局、NEDO、県財団 など）  
②個別相談会

参加料：[県西部地域] 無料、[県西部地域外] 1,000 円

参加者：20 社 20 名（定員：30 名、申込：31 名）

[県西部地域] 19 社 19 名、[県西部地域外] 1 社 1 名

個別相談会：5 社

ウ イノベーションアクション支援（競争的資金獲得伴走支援）

期 間：令和5年10月～令和6年3月

内 容：地域中小企業の技術課題の明確化や解決方法の探索を目的に、新事業展開や新製品開発に向けた補助金獲得等を伴走支援する。

支援企業：[県西部地域] 1 社 1 テーマ

芝原工業(株)（磐田市）「リモートによるロボットティ  
ーチング」

(2) 成長型中小企業等研究開発支援事業（経産省・Go-Tech 事業）の事業管理

Go-Tech 事業の事業管理機関として、「中小企業ものづくり基盤技術の高度化に関する法律」の認定を受けた中小企業の基盤技術の高度化を目的とする産学官による研究開発事業を支援した。

・事業管理機関としての支援

補助金交付申請総額：130,512 千円／4 件（間接経費含む）

補助金交付決定総額：130,512 千円／4 件

補助金交付確定総額：123,328 千円／4 件

ア (株)アールテック（浜松市中区）

技術案件：AI 深層学習にもとづくデジタル画像処理技術を用いた XR 遠隔臨場システムの研究開発

研究機関：(株)アールテック、東北大学、(株)ビルド 21

実施期間：令和4年度～令和6年度 <2 年目>

イ イノベティブ・デザイン&テクノロジー(株)（浜松市浜北区）

技術案件：電解技術を応用した環境負荷の低い切削液生成装置の研究開発

研究機関：イノベティブ・デザイン&テクノロジー(株)、静岡大学

実施期間：令和4年度～令和6年度 <2 年目>

ウ シナジーオプトシステムズ(株)（浜松市中区）

技術案件：集積型アクティブ光モジュール実用化の為に高速・高精度組立実装装置の開発

研究機関：シナジーオプトシステムズ(株)、宇都宮大学  
実施期間：令和4年度～令和6年度 <2年目>

エ (株)パパラボ (浜松市中区)

技術案件：色彩と面形状を高速に同時測定可能な世界初「3次元色彩計」の開発  
研究機関：(株)パパラボ、静岡大学  
実施期間：令和4年度～令和6年度 <2年目>

(3) 他の行政・地域支援機関等と連携支援

国や県をはじめとした、他の行政・地域支援機関等との連携を行い、地域中小企業に役立つ補助金情報をいち早く周知し、申請支援を実施した。

<各種補助金新規申請支援>

・個別相談：6社6件

・申請支援：3社3件

※事業再構築補助金：ディーブブレイン(同) (浜松市中央区)

※ものづくり補助金：浅沼技研(株)【採択】 (浜松市中央区)

※ものづくり補助金：(株)美浜工業【採択】 (浜松市浜名区)

※浜松市新産業創出事業費補助金：ROKI(株) (浜松市天竜区)

※浜松市新事業挑戦事業費補助金：ロックウェル(同)【採択】 (浜松市中央区)

※Go-Tech 事業：榎本工業(株) (浜松市浜名区)

【成果指標】

項目	実績		指標
	令和4年度※1	令和5年度※2	令和5年度
研究開発型補助金申請件数	6件	3件	3件

※1：令和5年3月末日時点、※2：令和6年3月末日時点

18 はままつ次世代光・健康医療産業創出事業

決算額 500,000円 (予算額 500千円) <財団自主>

【目的】

各地域の産学官連携推進機関との広域的な連携を図るとともに、地域企業における国等の各種研究開発事業による成果の発信や国内外の市場に向けた事業展開を支援する。

【年度総括】

医工連携拠点の事業運営委員会で決定された事業計画に基づき、「医工連携スタートアップ支援事業(新規医工連携プロジェクト補助事業)」等の各種事業に参画機関として協力するとともに、定期的に開催される医工連携拠点ワーキング会議に参加し、情報共有及び関係機関との連携を通じて企業間マッチングの促進を図った。

次年度も引き続き、新事業展開を検討する企業に対する支援や企業間マッチング支援の強化を図り、地域企業の医療機器産業への参入拡大に繋げる活動を推進していく。

【実施内容】

「はままつ次世代光・健康医療産業創出事業(はままつ医工連携拠点事業)」の活動計画を実現するため、当財団から3名の職員を浜松医科大学内に事務局を置く「拠点」に派遣し、連携機関の一つとして拠点の活動を支援した。

(1) 事業運営委員会

「はままつ次世代光・健康医療産業創出事業（はままつ医工連携拠点事業）」の活動計画の意思決定機関として、事務局から提示された事業計画及び事業報告について審議を行った。

開催日：令和5年5月24日（水）

会 場：浜松商工会議所会館

参加者：浜松医科大学、静岡大学、光産業創成大学院大学、浜松商工会議所、浜松地域イノベーション推進機構、静岡県、浜松市 他

(2) 医工連携ワーキング会議

産学官の関係機関が連携し、事業運営委員会で決定された各種事業の進捗状況の共有を図った。

開催日：令和5年5月16日（火）、7月18日（火）、9月19日（火）、  
11月21日（火）、令和6年1月21日（火）、3月19日（火）

会 場：浜松医科大学 医工連携拠点棟

参加者：浜松医科大学、静岡大学、光産業創成大学院大学、浜松商工会議所、浜松地域イノベーション推進機構、静岡県、浜松市 他

(3) メディカルイノベーションフォーラム 2023

医工連携拠点の成果報告や健康医療産業の最新情報の発信及び地域における医工連携についての基調講演等を行った。

開催日：令和6年2月19日（月）

会 場：ホテルクラウンパレス浜松

講 師：①グロービッツコンサルティング（東京都千代田区）

グループ代表 春山 貴弘 氏

②(独)日本貿易振興機構（ジェトロ）浜松貿易情報センター

所長 永盛 明洋 氏

内 容：①「アメリカ進出を目指す企業と日本の医療機器会社の課題」

②「イノベーション時代の新グローバル戦略」

参加者：63名（定員：100名）

(4) 医工連携スタートアップ支援事業

医療や介護現場の課題及びニーズを解決する新しい医工連携プロジェクトを推進するため、事業化可能性の高いアイデアを有する中小企業に対して、本格的な研究開発に向けた「アイデアの実現性の検証」を委託し、医工連携のスタートアップを支援した。

公募期間：令和5年4月17日（月）～5月31日（金）

対 象：静岡県内の中小企業

委 託 費：1 課題あたり 100 万円以内

事業期間：令和5年8月～令和6年1月末日

申請件数：8 件

採択件数：5 件

交付決定額：5,000 千円

交付確定額：5,000 千円

(5) 展示商談会への出展

医療機器分野への参入を目指す静岡県内の中小企業が共同出展することで、単独

では困難な人員の確保や新分野への PR を拠点が中心となりマッチングを支援した。

ア Medtec Japan (医療機器の設計・製造に関する展示会)

開催日：令和 5 年 4 月 19 日 (水) ～21 日 (金)

会 場：東京ビッグサイト

出展支援企業：3 社 (浜松市内)

イ 第 16 回ビジネスマッチングフェア in Hamamatsu 2023

開催日：令和 5 年 7 月 19 日 (水) ～20 日 (木)

会 場：アクトシティ浜松 展示イベントホール

内 容：本イベント内に「はままつ医工連携拠点」のブースを設置し、地域内外の  
来場企業に対して拠点を PR

(6) その他

企業と医療現場との情報交換会、医療・介護現場見学会、学術研究会・勉強会 等

## 1 9 地域産業活性化支援事業

決算額 1,294,573 円 (予算額 3,300 千円) <財団自主>

### 【目的】

各種事業を通じて地域企業の経営基盤強化を図ることにより、浜松地域 (静岡県西部) の産業経済の発展に寄与することを目的とする。

### 【年度総括】

浜松地域の経済発展に向けて、静岡県 IoT 導入推進コンソーシアムや浜松市海外経済交流推進事業への運営サポートや負担金の拠出等を行い、参画機関等と連携しながら地域企業の支援を行った。また、中小企業が下請けから脱却し、新分野への参入を促進するため、新たにものづくり関連法規を習得する「自社製品法規入門講座」や中小企業の喫緊の課題である「脱炭素経営」、「BCP (事業継続計画)」対策の解決に向けたセミナー等を実施した。

### 【実施内容】

浜松地域の産業経済の発展に寄与する市受託事業や他事業などを補完する施策を実施した。

(1) 浜松地域 (静岡県西部) の産業経済の発展に寄与する事業

ア 静岡県 IoT 導入推進コンソーシアム連携業務

デジタル技術の急速な進展による産業構造の転換が進む中、本コンソーシアムは静岡県における産業の持続的発展を実現するため、産学官の連携により、「見える化」「遠隔化」などの IoT 技術の実装を推進し、ビッグデータとデジタル技術を駆使した産業活動の実現に寄与することを目的としている。当財団は、事務局を担う静岡県産業部産業革新局をはじめとする 5 つの団体の一つとして、事務局業務をサポートする。

事務局：静岡県経済産業部産業革新局、国立大学法人静岡大学、(公財) 浜松地域イノベーション推進機構、(公財) 静岡県産業振興財団、静岡県工業技術支援センター

<事業計画>

① 「静岡県 IoT 導入推進コンソーシアム」総会

開催日：令和 6 年 3 月 22 日 (金)

場 所：WEB 会議

内 容：令和 5 年度事業報告及び令和 6 年度事業計画

② IoT 大学連携講座（全 3 回：座学（共通）＋実習＋成果発表）

・第 1 部「IoT 環境構築のための技術知識講座」

開催日：令和 5 年 5 月 26 日（金）

会 場：SHIP+WEB 開催

講 師：静岡大学 情報学部／グリーン科学技術研究所 教授 峰野 博史 氏  
静岡理工科大学 総合技術研究所 客員教授 工藤 司 氏

内 容：工場内等で IoT 環境を構築するための基礎知識を学ぶ

受講料：無料

参加者：46 社 69 名（定員：20 名（WEB200 名））

※参加内訳：中部地区 39 名、西部地区 14 名、東部地区 14 名、他 2 名

・第 2 部「わかりやすい IoT を用いた現場実装講座」

開催日：静岡／令和 5 年 6 月 27 日（火）、10 月 3 日（火）

浜松／令和 5 年 9 月 28 日（木）、令和 6 年 1 月 18 日（木）

沼津／令和 5 年 10 月 24 日（火）、令和 6 年 2 月 13 日（火）

会 場：静岡県工業技術研究所 他

内 容：プログラミングソフト「Node-RED」にてラズベリーパイと各種センサを接続してデータ収集の仕組みを体験。その後、セットアップ機器を自社工場で実証し、導入成果を発表

※導入の際には、専門家が無料（3 回程度）でサポート

受講料：24,000 円 ※機器代

参加者：静岡／10 社 12 名（定員：10 名）

浜松／11 社 13 名（定員：10 名）

沼津／7 社 9 名（定員：10 名）

③ 展示会出展

中小企業への IoT 普及を目的に地域で行われる展示商談会へブース出展

<磐田会場／第 12 回産業振興フェア in いわた>

開催日：令和 5 年 11 月 10 日（金）～11 日（土）

会 場：アミューズ豊田

<沼津会場／～ふじのくに産学官金連携フォーラム 2023～ふじのくに医療・介護福祉機器展>

開催日：令和 5 年 12 月 1 日（金）

会 場：プラサヴェルデ

イ 海外経済交流推進事業（協議会副会長：事業推進部長）

浜松市、JETRO 浜松、浜松商工会議所等と連携して、市内中小企業の「海外ビジネス展開」を支援するため、浜松市海外経済交流推進協議会事業に参画するとともに、産業支援機関として各種事業のフォローアップを行った。

- ・浜松市海外経済交流推進協議会負担金支出：100 千円
- ・海外経済交流推進協議会：令和 5 年 4 月 25 日（火）、9 月 13 日（水）
- ・海外ビジネスセミナー（ベトナム、タイ、インドネシア）
- ・MOU 締結機関（タイ）との意見交換会
- ・インドネシアへの現地訪問
- ・「浜松市海外ビジネスセミナー ～東欧（チェコ）編～」の開催 など

ウ その他事業

本事業の目標を達成するため、必要に応じて新たな取組を実施するとともに、関係機関との連携を図った。

(2) 国等の最新動向などに対応したトライアル事業

地域経済の状況や地域企業ニーズ等に迅速かつ効果的に対応するため各種セミナー等を行った。

ア 自社製品法規入門講座

開催日：令和5年8月22日（火）

会場：（公財）浜松地域イノベーション推進機構 セミナー室

講師：ナカタニ テクノマネージ技術士事務所（埼玉県さいたま市）

代表 中谷 二三男 氏

内容：「ものづくり」に関する日本の法規制を学ぶ。

・PL法、消安法・PSC、電安法、電波法等

参加料：5,000円

参加者：13社17名（定員：20名、申込：18名）

[市内] 8社11名、[市外] 5社6名

イ IoTと新通信規格を活用した脱炭素経営見える化支援セミナー

開催日：令和6年2月19日（月）

会場：WEB開催

講師：①PwCコンサルティング合同会社（東京都千代田区）

シニアマネージャー 近藤 芳朗 氏

②榊長倉製作所（沼津市）

③榊木村鋳造所（御前崎市）

内容：①脱炭素経営支援に係る実証実験の意義

②③事例紹介

参加料：無料

参加者：13社14名（定員：50名、申込：23名）

[市内] 9社10名、[市外] 4社4名

ウ 中小企業のためのBCP（事業継続計画）対策セミナー

開催日：令和6年1月30日（火）

会場：グランドホテル浜松

講師：①（独）中小企業基盤整備機構（愛知県名古屋市）

中部本部地域・連携支援部 中小企業アドバイザー 山本 修矢 氏

②静岡県経済産業部商工業局経営支援課

③榊東洋鐵工所（浜松市中央区） 代表取締役 北村 和彦 氏

内容：①BCPはじめの一步

②静岡県事業継続計画モデルプラン（第4版）について

③地域企業のサイバーセキュリティの取り組み

④中小企業支援策（専門家派遣）の紹介

⑤個別相談会

参加料：無料

参加者：39社48名（定員：50名、申込：57名）

[市内] 32社37名、[市外] 7社11名

### (3) 企業成長促進事業

地域中小企業の新事業展開を促進するため、起業家を講師に招き、新規事業を創出するための方法を解説するセミナーを開催した。

#### ア 企業成長促進セミナー

開催日：令和6年2月16日（金）

会場：アクトシティ浜松 コンgressセンター

講師：(株)ユニコーンファーム（東京都渋谷区）

代表取締役 CEO 田所 雅之 氏

内容：テーマ「企業発イノベーションの極意」

- ・リソースが限られた中小企業が新規事業を起こすために、イノベーションを企業文化として新規事業を創出するための方法を解説

参加料：無料

参加者：38社51名（定員：賛助会員・役員枠40名、一般枠70名、申込54名）  
[賛助会員等] 9社9名、[一般] 29社41名

## 20 フォトンバレーセンター事業

決算額 100,581,375 円（予算額 105,170 千円） <県・8市町負担金>

決算額 54,677,230 円（予算額 60,000 千円） <A-SAP 特定資産>

決算額 620,000 円（予算額 1,250 千円） <企業負担金>

### 【目的】

「光・電子技術を活用した未来創成ビジョン（フォトンビジョン）」の実現に向け、地域の光・電子技術を基盤とした産業振興を推進する。

併せて、地域の中核支援機関（プラットフォーム）として、光・電子技術が持つ将来の可能性と地域の強みを活かしながら、光・電子技術の世界的拠点となるクラスターの形成を目指す。

### 【年度総括】

令和4年度に本格スタートした「ひかり塾」は、令和5年度は県内全域で14回開催し、産学官金関係者237名が参加した。アンケートの結果では約85%の参加者から「大変満足」「満足」との評価をいただいている。

「ビジネスプロデュース力養成ラボ（B-LABO2023）」については、本編のワークショップに先立ち、概要を説明するセミナーを開催した。セミナーから本編のワークショップ参加へと繋がった受講者も4名おり、一定の効果があった。

「光を利用したものづくりに関するセミナー」は3回開催し、第1回は沼津市で、第2、3回は浜松市で開催した。県内幅広い地域からの参加があり、質疑応答では熱心に質問する受講者の姿が見られた。

「キラピカラボ」では、夏休みに児童・生徒の自由研究の材料となる実験講座を行い、24家族60名の参加者があった。今年度は発光する液体を使った混色実験を行い、多くの参加者に光についての興味を持っていただけた。

「A-SAP 産学官金連携イノベーション推進事業」においては、令和5年度予算として第16期～第19期の公募を行い、38社42件の申請があり、採択審査会の結果、12社12件が採択された。「適合しない」または「不採択」となった案件についても、当センターコーディネーターが継続的なフォローアップを実施している。

ひかり塾開催に合わせ、A-SAP 説明会も開催しており、今後の申請に繋げていく。

また成果事例に関する動画も各プロジェクト終了後順次公開した。

## 【実施内容】

フォトンバレーセンターは、地域の中核支援機関として、大学の産学連携推進組織や金融機関、官公庁などの各セクターとの連携を強化するとともに、企業群のネットワーク化を進め、入口から出口までを一貫して支援した。

この体制の下、大学シーズと企業ニーズのマッチングをはじめ、光・電子技術活用のためのセミナーなどの人材育成事業や光・電子技術の活用による生産性向上に取り組む企業などの支援を行った。

### (1) ビジネスマッチング事業

#### ア コーディネート事業

##### ・支援種別件数

参入啓発	製品開発	生産性向上	販路開拓	海外展開	人材育成	その他	合計
5	750	38	15	—	—	42	850

##### ・技術分野別件数

光・電子	次世代自動車	医療・福祉機器	ロボット	航空宇宙	環境関連技術	新エネルギー	新農業	CNF	食品	その他	合計
572	18	53	19	5	28	3	61	3	28	60	850

##### ・地区別支援企業数

西部								中部	東部	県外	合計
浜松市	磐田市	掛川市	袋井市	湖西市	御前崎市	菊川市	森町				
469	50	8	27	25	1	9	4	107	68	82	850

#### イ 参入啓発セミナー

これまで光・電子技術を活用したことがない企業に対し、その有用性を理解してもらい、企業における既存産業の課題解決及び新規事業展開等に関するセミナーを行った。

- ・ [浜松市] 次世代のレーザー加工技術を学ぶ

開催日：令和6年1月29日（月）

会場：静岡県浜松工業技術支援センター

講師：自然科学研究機構（岐阜県土岐市）核融合科学研究所 可知化センシングユニット ユニット長・准教授 上原 日和 氏  
丸文株式会社（愛知県名古屋市）システム営業本部 営業第4部 レーザー機器課 嵩西 智 氏

内容：近赤外・中赤外レーザーによる樹脂加工

参加料：無料

参加者：47名（定員：50名、申込：52名）

- ・ [磐田市] デジタル技術活用による生産性向上セミナー

開催日：令和5年11月10日（金）

会場：アミューズ豊田 ゆやホール

講師：富士油圧精機㈱（群馬県前橋市）執行役員第二工場長 剣持 卓也 氏

内容：中小企業における製造業DXの成功事例

参加料：無料

参加者：66名（定員：70名、申込：42名）

- ・ [掛川市] 「協働ロボットの活用とその可能性」  
 開催日：令和6年1月26日（金）  
 会 場：掛川商工会議所  
 講 師：静岡県ふじのくにロボット技術アドバイザー 長谷川 徹 氏  
 内 容：協働ロボットの活用事例と展望  
 参加料：無料  
 参加者：32名（定員：30名、申込：31名）
- ・ [袋井市] 農家のための実践スマート農業の進め方  
 開催日：令和6年2月7日(水)、14日（水）の2日間  
 会 場：袋井市教育会館  
 講 師：静岡県立農林環境専門職大学 学長 鈴木 慈彦 氏  
 (株)TAK システムイニシアティブ(浜松市浜名区) 代表取締役 瀧口 義浩 氏  
 内 容：農林業教育とスマート農業・現場にもっとスマート光技術を  
 参加料：無料  
 参加者：1日目 41名（定員：100名、申込：44名）  
 2日目 5名（定員：20名、申込：9名）
- ・ [湖西市] ものづくり人材確保に向けて 製造DXで技能と頭脳を伝承する  
 開催日：令和5年6月29日（木）  
 会 場：湖西市新居地域センター  
 講 師：BASIC（浜松市西区） 代表 菅原 基 氏  
 羽立化工(株)（湖西市） 営業開発課長 横山 雅学 氏  
 内 容：技能伝承  
 参加料：無料  
 参加者：15名（定員：30名、申込：16名）
- ・ [御前崎市] デジタル時代の観光・小売サービス業の未来  
 開催日：令和5年12月22日（金）  
 会 場：なぶら館  
 講 師：静岡県デジタル戦略局 参事 杉本 直也 氏  
 内 容：第1部／VR体験会  
 第2部／仮想空間ビジネスの可能性と観光・サービス業での事例と展望  
 参加料：無料  
 参加者：11名（定員：30名、申込：12名）
- ・ [菊川市] 意外と身近なスマート農業 データ管理から始める栽培の省力化と経営  
 の視点  
 開催日：令和6年1月15日（月）  
 会 場：菊川市役所 会議室  
 講 師：県立農林環境専門職大学 教授 菊池 宏之 氏  
 (株)TAK システムイニシアティブ(浜松市浜名区) 代表取締役 瀧口 義浩 氏  
 内 容：今求められる、農業生産者から農業経営者への転換を考える  
 参加料：無料  
 参加者：36名（定員：30名、申込：26名）
- ・ [森町] AIチャットボットを人手不足、技能伝承に役立てる  
 開催日：令和5年9月28日（木）  
 会 場：森町総合体育館（森アリーナ） 研修室  
 講 師：BASIC（浜松市西区） 代表 菅原 基 氏

内 容：ものづくり現場で活用したい AI チャットボットの可能性とその先

参加料：無料

参加者：19名（定員：30名、申込：18名）

#### ウ ひかり塾

中小企業の技術的課題と光・電子技術とのマッチングを行える人材の養成を目的として、企業、金融機関や産業支援機関、行政などの人材を対象に、光の初歩的な知識や応用に関するワークショップを行った。

日程		対象	参加者
第1回	5月19日（金）	浜松商工会議所、ジェトロ浜松、静岡銀行 他	24名
第2回	6月6日（火）	静岡信用金庫	10名
第3回	7月5日（水）	浜松いわた信用金庫（ハイブリッド方式）	62名
第4回	7月14日（金）	遠州信用金庫	22名
第5回	7月28日（金）	静岡県信用保証協会（静岡）	10名
第6回	8月4日（金）	静岡地域の産学官金関係団体・企業 他	15名
第7回	9月15日（金）	しずおか焼津信用金庫	23名
第8回	9月20日（水）	三島地域の産学官金関係団体・企業	7名
第9回	10月31日（火）	湖西地域の産学官金関係団体・企業	15名
第10回	11月21日（火）	沼津地域の産学官金関係団体・企業	13名
第11回	11月29日（水）	伊東地域の産学官金関係団体・企業	6名
第12回	1月19日（金）	袋井地域の産学官金関係団体・企業	18名
第13回	2月8日（木）	志太榛原地域の産学官金関係団体・企業	5名
第14回	2月15日（木）	掛川地域の産学官金関係団体・企業	7名

## (2) 産学官金連携事業

### ア 展示会出展支援

首都圏等で開催される展示商談会へフォトンバレーセンターの共同ブースを設置し、地域企業の新製品や新技術の販路開拓を支援するとともに、本センターの活動の周知を図った。

期日（会場）	展示会名称	出展社数
4月19日（水）～21日（金） （パシフィコ横浜）	OPIE'23 レーザーEXPO	5社
出展支援企業：イメージテック株式会社（浜松市東区）、ソフトワークス株式会社（浜松市中区）、パイフォニクス株式会社（浜松市東区）、パルステック工業株式会社（浜松市北区）、株式会社分光応用技術研究所（浜松市中区）		
来場者数	13,686名 ※主催者報告数字	

### イ 広報発信事業

#### ① 広報媒体の作成及び運用

- ・パンフレット
- ・ホームページ
- ・キラピカマップ

光の基礎知識が分かる児童～小学生高学年から中学生向けの紙ツールを作成。  
増刷：令和5年4月（300部）

②県西部地域の展示会における情報発信

フォトンバレーセンターの取り組み及び光・電子技術の有用性や有望性を発信するため、県西部地域で開催される技術展示商談会に出展した。

・第13回 産業振興フェア in いわた

開催日：令和5年11月10日（金）～11日（土）

会場：アミューズ豊田

主催：磐田市、磐田商工会議所、磐田市商工会

内容：次世代技術で産業構造の転換をテーマに、広域交流による地域企業の新産業・新事業創出を目的として、展示商談会を開催。フォトンバレーセンターは本展示会にブースを設け、光・電子技術の活用性などを来場者にPRする。

※ブース内出展企業：(株)スカイロジック（浜松市北区）、(株)ゼロワン（浜松市中区）、(株)オプトメカエンジニアリング（浜松市浜北区）

出展企業：186社

来場者：8,300名

ウ 光を利用したものづくりに関するセミナー

画像検索等をテーマに、すでに光・電子技術を取り入れているものづくり企業向けにセミナーを行った。

・第1回「目視検査の常識を覆す!『周辺視目視検査法』入門」

開催日：令和5年7月12日（水）

会場：沼津商工会議所

講師：周辺視目視検査研究所（神奈川県海老名市） 代表 佐々木 章雄 氏

内容：周辺視目視検査法について

参加料：無料

参加者：26名（定員：60名、申込：27名）

・第2回「AI時代の外観検査の課題と実践的な導入の進め方」

開催日：令和5年10月26日（木）

会場：グランドホテル浜松

講師：(株)Eidea（東京都千代田区） 代表取締役 村上 友広 氏

内容：外観検査に関する講演、個別相談会

参加料：無料

参加者：41名（定員：60名、申込：47名）

・第3回「目視検査の常識を覆す!『周辺視目視検査法』入門」

開催日：令和6年3月5日（火）

会場：グランドホテル浜松

講師：周辺視目視検査研究所（神奈川県海老名市） 代表 佐々木 章雄 氏

内容：周辺目視検査法について

参加料：無料

参加者：59名（定員：60名、申込：64名）

エ 健康機器分野新規参入・薬機法関連セミナー

※はままつ医工連携拠点と共同開催

医工連携拠点との共催による健康医療分野に関するセミナーを行った。

<はままつメディカル塾（全5回）>

講師：浜松地域新産業創出会議 アドバイザー（医工連携担当）兼  
経営支援アドバイザー・薬事専門家 永田 靖 氏

- ・第1回「わかりやすい医療機器と薬機法（入門編）」  
開催日：令和5年10月5日（木）  
会場：浜松商工会議所会館 会議室  
参加者：29名（定員：40名）
- ・第2回「医療ヘルスケア関連ソフトウェアと『プログラム医療機器』（入門編）」  
開催日：令和5年10月19日（木）  
会場：浜松商工会議所会館 会議室  
参加者：23名（定員：40名）
- ・第3回「医療機器産業への参入の実際と課題及び業許可等」  
開催日：令和5年11月16日（木）  
会場：浜松商工会議所会館 会議室  
参加者：18名（定員：40名）
- ・第4回「医療機器の品質マネジメントシステムと QMS 省令の構築」  
開催日：令和5年11月30日（木）  
会場：浜松商工会議所会館 会議室+WEB  
参加者：25名（定員：40名）
- ・第5回「医療機器の開発におけるリスクマネジメントと医療機器の認可等の申請」  
開催日：令和5年12月14日（水）  
会場：浜松商工会議所会館 会議室+WEB  
参加者：26名（定員：40名）

オ ビジネスプロデュース力養成ラボ（B-LABO）2023

モノ・コトづくりを事業化し、産業として活性化を担う人づくりを進めるため、イノベーションマインドを持ち、事業化に向けた構想を作り上げることができる人材を養成した。

<セミナー>

開催日：令和5年8月28日（月）

場所：アクトシティ浜松 コンgressセンター 会議室

講師：光産業創成大学院大学 教授 江田 英雄 氏、岡田 晃行 氏

内容：「消費者視点」へと新しい価値の創出が求められていることを認識し、価値創出の機会を発見することと、新たなビジネスを創り出すスキル習得について学びます。

参加料：無料

参加者：22名（定員：40名、申込：26名）

<ワークショップ（全8回）>

開催日：令和5年9月15日（金）～12月15日（金）

会場：オンライン及び市内ホテル等

内容：新たなビジネス創出に必要な知識とスキル習得に加え、グループワークを軸とした参加者同士の協働を重ねながら実践的なプロデュース力を育みます。

対象者：県内企業の中堅層を担う方、これからビジネスを担っていく方

受講料：30,000円

参加者：5社5名（定員：20名）

<成果発表会>

開催日：令和5年12月15日（金）

場 所：アクトシティ浜松 コンgressセンター 会議室

参加者：4社4名

カ ひかりと遊ぼう「キラピカラボ 2023」 ※3部制

子どもたちが光に興味を持ち、理解を深めることで、将来的に光を活用したものづくりに携わる人材を育成するイベントを行った。

開催日：令和5年8月9日（水）①10：30～、②12：30～、③14：30～

会 場：静岡大学 浜松キャンパス内 佐鳴会館

講 師：サイエンスデイズ（浜松市中区） 林田 亮 氏

内 容：光を使った実験で楽しく学ぶワークショップ

（蛍光スライム作り・加法混色の実験・分光実験 など）

参加料：無料

参加者：①8家族20名（定員：12家族）

②7家族18名（定員：12家族）

③9家族22名（定員：12家族）

(3) 光・電子技術活用支援事業

光・電子技術を活用した事業展開を支援するため、光・電子技術を活用し、製品開発に向けた試作品の製作や基幹部品の開発に対する補助事業を行った。

ア 光・電子活用チャレンジ事業費補助金（予算：7,800千円）

公募期間：令和5年4月3日（月）～5月31日（水）

対象事業：光・電子技術を活用した製品、製品化に向けた試作品及び基幹部品の製作又は光・電子技術を活用した製品の市場導入に向けて実施する評価・試験、改良を行う事業

補助率：1/2

補助額：上限2,000千円

対象経費：原材料・部品等購入費、機器設備費、産業財産権等導入・取得費、外注委託・評価分析費、技術指導導入費、機器・設備類のリース・レンタル料、消耗品費（開発に直接必要なもの）

事業期間：交付決定日～令和6年2月29日（木）

申請件数：7件

採択件数：4件

交付決定額：7,060千円（4件）

交付確定額：6,335千円（4件）

<交付企業一覧>

（単位：円）

企業名	(株)スカイロジック (浜松市北区)	交付確定額	2,000,000
1	[事業名] AIを活用したクラウド画像処理システムの開発 [成果と今後] カメラを設置するだけで画像処理による自動監視が可能となるクラウドシステムの開発を行った。これまでのオンプレ（クラウドなし）で動作するシステムを使用するには、各事業所（工場など）にパソコンを設置することが必要であった。今回のシステムによりカメラのみ設置するだけで、実際の画像処理はクラウド上で行うことができるようになり、		

	パソコンを置くことが困難な個人の農家や山奥の変電所などでもデータが取れるようになり、また導入に際しての費用も安価に導入できるようになった。本 API (アプリケーションプログラムインターフェース) は既に施工確認の用途でユーザーが使用を開始している。		
2	企業名	(同) Mode・Create (浜松市中区)	交付確定額 2,000,000
	<p>[事業名] 製造業における新技術開発者・研究者向け“特許評価データベース”の開発・販売事業</p> <p>[成果と今後] 新製品・新技術開発の技術者・研究者目線に立ち、自社技術に関連性のある他社の要注意特許をチームで管理する「特許評価データベース」の試作機を製作した。本特許評価データベースは汎用の特許検索システムから得られた検索結果を開発チーム全員で情報共有するために、特に視認性・操作性に配慮されたものとなっている。企業の技術開発現場においては、本データベースの利用によって他社の要注意特許をチームで常時監視する仕組みが構築され、製品開発における特許上の課題を克服するためのチーム内コミュニケーションが活性化され、自社技術開発の方向性への意思決定を促進・支援することが期待できる。</p> <p>今後、試作品に対する市場の反応を確かめるために、令和6年5月横浜、7月名古屋で開催する「人とくるまのテクノロジー展」へ出展する。</p>		
3	企業名	イメージテック(株) (浜松市東区)	交付確定額 525,000
	<p>[事業名] カセット式電子源を持つ X 線管モジュールおよび X 線発生システムの開発</p> <p>[成果と今後] X 線管の寿命によるメンテナンス作業を単純化するために、国産初のカセット式電子源をもつ X 線管モジュール式 X 線発生システムの開発を実施した。開発の成果として①装置の軽量化、②交換作業の単純化、③交換時間短縮化の見通しを得た。本事業では製品の試作装置が完成し、同社の X 線ラインセンサカメラとの組み合わせで X 線撮像も確認した。今後、より多方面に販売可能な高出力タイプの追加と、同社製品制御盤との通信による制御可能な制御ボードの開発を目指す。</p>		
4	企業名	芝原工業(株) (磐田市)	交付確定額 1,810,000
	<p>[事業名] 立体視可能な溶接用電子ゴーグル</p> <p>[成果と今後] 本事業により①映像の高画質化、録画機能を実現したゴーグルの作成。②実習者と指導者の同時観察機能および指導者からのタブレット入力機能の実現。③遠隔地でも映像を共有できるネットワーク機能を実現。④市販品の光学フィルタを組み合わせることでアーク溶接にも対応できる光フィルタを実現できることを確認した。</p> <p>今後、電子ゴーグルのさらなる軽量化及び溶接地の細かな挙動を現状以上に観察するためのカメラの高ダイナミックレンジ化を目指す。</p>		
合計			6,335,000

#### (4) 世界的ネットワーク構築支援事業

##### ・ドイツ弁理士会来所・事業紹介

レーザー技術、光学、照明技術、医療技術分野を得意とし、ドイツとアメリカで活躍する弁理士でドイツのフォトンクラスターのメンバーでもある Dr. J. Felix Grasbon 氏ほか2名が名古屋で開催される弁理士会の研修の講師として招かれ来日し

た。これに併せてフォトンバレーセンターを訪問した。

- ・令和5年度海外展示会の開催動向調査（業務委託）

コロナ禍が落ち着いてきたことから、令和6年度以降に海外展示会への参加再開を目指し、しんきん経済研究所に委託し海外展示会の実施状況等の調査・情報収集を行った。

- ・令和6年度以降に海外展示会への出展を再開する場合に備え、ビジネスマッチング用の新パンフレットデザインを作成した。

(5) A-SAP 産学官金連携イノベーション推進事業

国内初の産学連携スキームを構築し、企業の課題解決のためのプロジェクトチームを外部の専門家や企業等で結成して、光・電子技術の活用により早期の課題解決を支援した。

- 対象事業：(1) 新製品の開発に向けた試作品の製作  
 (2) 新製品・サービスの開発に向けた設計  
 (3) その他センターが認めるもの

委託金額：1プロジェクトあたり上限500万円（6ヶ月）

・第14期

公募期間：令和4年5月15日（日）～31日（火）

申請件数：15社16件

採択件数：2社2件

事業期間：令和4年11月～令和5年5月

1	企業名	GEE(株) (浜松市北区)	委託額	4,979,000
	プロジェクトリーダー	光産業創成大学院大学		
	[プロジェクト名]	照明デバイスの解析データの動的可視化		
	[成果と今後]	業界標準とされている既存ソフトウェアでは不十分な、動的可視化機能と高いユーザビリティを有する工業用レイトレーシング画像の可視化システムを安価に構成するため、照明部品をある角度から見た時のレイトレーシングを集中して行うことで計算量を削減する独自の画像データ処理技術と、無償で使用できるゲームエンジン（3D画像表示ソフト）の活用により、工業用光線計算ツールとしての実用に耐えうる光学解析、ビジュアル表示システムを開発した。 開発したソフトに必要な光学マテリアルの受託測定サービス事業展開。高精度レイトレーシング画像の動的可視化により、車内インテリア照明設計依頼業者との商談成立迅速化、事業加速。ソフト自体をパッケージングしてライセンス契約による収益化を目指す。		
2	企業名	(株)トヨコー (富士市)	委託額	4,940,000
	プロジェクトリーダー	光産業創成大学院大学		
	[プロジェクト名]	保護ウィンドウ汚れ程度センシング		
	[成果と今後]	レーザーケレン作業装置のレーザーヘッド内部の保護窓への汚れの付着の程度を自動判定するオフライン型（装置本体に対し別体型として実現）ユニット開発のため、窓汚れの光学的特性分析及び画像解析などの基礎計測を行い、必要となるセンサ等を選定し、ユニットを試作して評価試験を実施、汚れ程度の自動判定に目途が立った。さらに、将来オンライン型（装置本体への組み込み型）を実現するために必要となる基礎データを得た。オフライン型装置により、現場に於いて多種多様な保護窓汚れを撮像&解析できるようになり、これまでは不可能であった現場でのデータ蓄積が可能となった。		
合計			9,919,000	

・第15期

公募期間：令和4年8月15日（月）～31日（水）

申請件数：7社8件

採択件数：適合案件なし

・第16期

公募期間：令和4年9月1日（木）～11月15日（火）

申請件数：18社18件

採択件数：7社7件

事業期間：令和5年4月3日～令和6年3月13日

【採択企業】

(単位：円)

1	企業名	㈱しずロボ (藤枝市)	委託額	4,920,000
	プロジェクトリーダー	静岡大学		
	[プロジェクト名]	脊髄内視鏡手術用刃具の開発		
	[成果と今後]	プロジェクト終了、成果公開用資料準備中		
2	企業名	大建産業㈱ (浜松市中央区)	委託額	4,990,030
	プロジェクトリーダー	静岡大学		
	[プロジェクト名]	溶接部品自動判別ロボットシステムの開発		
	[成果と今後]	プロジェクト終了、成果公開用資料準備中		
3	企業名	合同会社 MODE・CREATE (浜松市中央区)	委託額	4,992,000
	プロジェクトリーダー	静岡大学		
	[プロジェクト名]	自然言語処理 AI による特許評価データベース		
	[成果と今後]	プロジェクト終了、成果公開用資料準備中		
4	企業名	小林工業㈱ (浜松市中央区)	委託額	4,998,000
	プロジェクトリーダー	静岡大学		
	[プロジェクト名]	電動マイクロモビリティを活用したキッチンカーの開発		
	[成果と今後]	プロジェクト終了、成果公開用資料準備中		
5	企業名	㈲池谷製作所 (浜松市中央区)	委託額	4,915,200
	プロジェクトリーダー	静岡大学		
	[プロジェクト名]	高齢者の健康を支える VR チェアヘルスケア機器の開発		
	[成果と今後]	プロジェクト終了、成果公開用資料準備中		
6	企業名	㈱タケウチ (富士宮市)	委託額	4,992,000
	プロジェクトリーダー	静岡理工科大学		
	[プロジェクト名]	最適在庫管理システムの開発		
	[成果と今後]	プロジェクト終了、成果公開用資料準備中		
7	企業名	㈱シルバコンパス (浜松市中央区)	委託額	4,980,000
	プロジェクトリーダー	静岡大学		
	[プロジェクト名]	視覚情報が変化した際の対話情報伝達量の影響調査		
	[成果と今後]	プロジェクト終了、成果公開用資料準備中		
合計				34,787,230

・第17期

公募期間：令和4年11月16日（水）～令和5年2月28日（水）

申請件数：14社14件

採択件数：3社3件

事業期間：令和5年7月7日～令和6年3月31日

## 【採択企業】

(単位：円)

1	企業名	バスリエ(株) (裾野市)	委託額	4,992,000
	プロジェクトリーダー	静岡理工科大学		
	[プロジェクト名]	IoT スマートサウナに向けた脈波計測システムの開発		
	[成果と今後]	プロジェクト終了、成果公開用資料準備中		
2	企業名	(株)リバティ (静岡市)	委託額	4,948,200
	プロジェクトリーダー	静岡大学		
	[プロジェクト名]	野外常設型プロジェクターBOX の熱対策		
	[成果と今後]	プロジェクト終了、成果公開用資料準備中		
3	企業名	(株)丸文製作所 (浜松市中央区)	委託額	4,979,000
	プロジェクトリーダー	静岡理工科大学		
	[プロジェクト名]	太陽熱利用型ボイラーの省エネ効果と栽培環境の最適化		
	[成果と今後]	プロジェクト終了、成果公開用資料準備中		
合計				14,919,200

## ・第18期

公募期間：令和5年3月1日(水)～5月31日(水)

申請件数：5社5件

採択件数：1社1件

事業期間：令和5年10月2日～令和6年4月30日

## 【採択企業】

(単位：円)

1	企業名	ユニクラフトナグラ(株) (湖西市)	委託額	4,992,000
	プロジェクトリーダー	静岡理工科大学		
	[プロジェクト名]	画像検査に活用可能な小規模AIモデルの開発		
	[成果と今後]	プロジェクト実施中		
合計				4,992,000

## ・第19期

公募期間：令和5年6月1日(木)～8月15日(火)

申請件数：5社5件

採択件数：1社1件

事業期間：令和5年12月7日～令和6年7月31日

## 【採択企業】

(単位：円)

1	企業名	ルーツ(株) (袋井市)	委託額	4,950,240
	プロジェクトリーダー	静岡大学		
	[プロジェクト名]	高品質メロンの養液栽培のための、計測・分析システムの構築		
	[成果と今後]	プロジェクト実施中		
合計				4,950,240

## ・第20期

公募期間：令和5年8月16日(水)～11月15日(水)

申請件数：5社5件

採択件数：1社1件

事業期間：-

## 【採択企業】

(単位：円)

1	企業名	パイフォトンクス(株) (浜松市中央区)	委託額	-
---	-----	----------------------	-----	---

プロジェクトリーダー	浜松工業技術支援センター	
[プロジェクト名]	MAP 技術を用いた新しい光パターン LED 照明の開発	
[成果と今後]	プロジェクト検討中	
合計		—

(6) 静岡県中小企業制度融資及び新規・地域産業立地事業費補助金

静岡県の依頼に対し、成長分野（フォトンバレープロジェクト）に該当するか否か審査を行った。

ア 成長産業分野支援資金「クラスター産業分野支援貸付」

光・電子技術関連産業（フォトンバレー）の新規事業展開に対して静岡県が金融機関に利子補給を行い、中小企業者の利息負担を軽減する制度を活用することで、中小企業者の成長及び発展を促進する。

融資対象者：県内に主たる事業所を有し、光・電子技術を基盤とした新技術・新製品の開発を行うため、光・電子技術関連産業（フォトンバレー）プロジェクトに参画する中小企業者、組合など

融資限度額：10 億円

対象経費：クラスター産業分野を推進するための研究、開発、製造、販売に必要な設備資金及び運転資金

融資実績：12 件 2,395 百万円 ※令和 4 年度実績：10 件 498 百万円

イ 新規・地域産業立地事業費補助金

県内で製造工場や物流施設等を新設・増設する企業の設備投資に対して静岡県が助成を行うことにより、国内外からの新たな企業の誘致や県内企業の定着を促進する。

補助対象者：県内に主たる事業所を有し、光・電子技術を基盤とした新技術・新製品の開発を行うため、光・電子技術関連産業（フォトンバレー）プロジェクトに参画する企業、組合など

補助限度額：10 億円

対象経費：成長産業分野を推進するための建物建設費及び機械設備購入費、安全対策費

認定件数：無し ※令和 4 年度実績：2 件 1,063 百万円

【成果指標】

項目	実績		指標
	令和 4 年度※1	令和 5 年度※2	令和 5 年度
相談・対応件数	874 件	850 件	1,000 件
地域企業の製品開発件数	3 件	5 件	5 件
「光・電子技術活用補助金※3」採択件数	5 件	4 件	5 件
A-SAP※4 申請件数	47 件	42 件	30 件
A-SAP※4 採択件数	5 件	12 件	12 件
技術ニーズマッチング社数	5 社	11 社	16 社
商談成立件数	1 件	1 件	5 件

※1：令和 5 年 3 月末日時点、※2：令和 6 年 3 月末日時点

※3：光・電子活用チャレンジ事業費補助金

※4：産学官金連携イノベーション推進事業

## 2 1 次世代自動車センター事業

決算額 90,000,000 円 (予算額 134,000 千円)	<静岡県・浜松市負担金>
決算額 41,511 円 (予算額 1,893 千円)	<財団自主>
決算額 6,228,000 円 (予算額 5,520 千円)	<会員会費>
決算額 10,268,380 円 (予算額 9,000 千円)	<国委託>

### 【目的】

近年加速する自動車産業の技術革新（EV化や自動運転化等）に伴うビジネス環境の変化に対応するため、県西部地域の基幹産業である輸送用機器産業で培ってきた技術力の高度化、新製品開発等を支援する。

### 【年度総括】

令和5年度は、従前の「次世代自動車対応支援」「カーボンニュートラル対応支援」「デジタルものづくり対応支援」から「サプライチェーン基盤強化支援」を加えた4つの事業方針に基づく各種事業を実施した。事業の開催回数は50回、延べ参加者数は10,543人（前年度より3,535人増）となった。

次世代自動車対応支援では、会員企業の技術力・提案力向上のために、車両分解活動や部品ベンチマーク活動を充実させ、最新技術の情報を会員企業へ提供した。また、車両分解活動では令和4年度に購入した中国製電気自動車「長城汽車ORA Good Cat」の分解調査結果報告会を開催するとともに、部品ベンチマーク活動では日産アリア、ヒュンダイIONIQ5、トヨタbz4x、BMW i4、プジョーe-208の電動パワートレーンの分解調査説明会を開催することで、国内外の次世代自動車に搭載される部品に関して有益な技術情報を提供することができた。さらに、これらの分解部品を8月から拡張した部品ベンチマークルームに展示し、次世代自動車ビジネスのテーマ探しを後押しする充実した環境を整えることができた。

カーボンニュートラル対応支援では、技術動向講演会及び先行取り組み企業報告会、製造時CO2削減計画策定の基礎講座を開催し、中小企業のカーボンニュートラルへの取り組みを促進した。

デジタルものづくり対応支援では、中小企業のデジタル化を促進する支援として、3Dプリンタ実用化プロジェクトの継続、サイバーセキュリティ対策基礎講座を開催した。また、デジタル人材の育成・確保の支援策として、市販AIセンサを使った品質検査研修会、静岡大学と連携したインターンシップ事業を展開し、中小企業におけるデジタルものづくりの促進、課題に対応する取り組みを行った。

今年度から開始したサプライチェーン基盤強化支援では、サプライチェーンの基盤にあたる小規模企業を対象に、次世代自動車ビジネスに対応できる経営基盤を整えるため、現場改善のための基礎講座を開催した。また、技術コーディネーターが企業を訪問して現場の現状を確認・分析し、各企業の困り事に応じた伴走型の現場改善指導を実施した。

令和6年度も引き続き4つの支援事業を展開することにより、輸送用機器産業を取り巻くデジタル化対応などのビジネス環境の変化に対応していける技術力の向上を目指した支援を行っていく。

### 【実施内容】

地域中小企業が次世代自動車に搭載される部品を開発するための5つの支援（技術啓発、技術研鑽、技術創造、人材育成、販路開拓）に基づく事業を展開し、会員企業の技術開発支援やマッチング支援を行う。

<会員制度>

- ・会員企業：530社 ※令和6年3月末時点  
 [県西部地域] 262社、[県西部地域外] 268社  
 [中小企業] 398社、[大手企業] 132社
- ・入会資格
  - ①静岡県に製造拠点等がある中小企業、または自動車関連産業に参入を希望する中小企業
  - ②地域外であっても、県内完成車メーカーと取引のある自動車関連企業
  - ③当センターの事業に賛同する企業等
 年会費：12,000円（税込） ※10月以降に加入の場合6,000円（税込）

<事業展開> ※基本的に会員企業が対象

(1) 次世代自動車対応支援事業

ア 次世代自動車センター浜松フォーラム ※非会員企業も対象

開催日：令和5年4月27日（木）

会場：グランドホテル浜松

講師：経済産業省 製造産業局 自動車課長 清水 淳太郎 氏

内容：経済産業省による基調講演、次世代自動車センターの活動報告及び令和4年度の事業計画、カーボンニュートラルに対する中小企業支援の取組みに関するパネルディスカッション等

参加費：無料

参加者：118社201名（定員：200名、申込：235名）

[県西部地域] 79社137名、[県西部地域外] 39社64名

<オンデマンド配信>

実施期間：令和5年5月29日（月）～6月2日（金）

参加者：41社48名（視聴回数72回）

イ 技術動向講演会（CASE） ※非会員企業も対象

開催日：令和5年11月13日（月）

会場：グランドホテル浜松

内容：大手部品メーカーの開発技術者による講演をはじめ、次世代自動車部品の先行開発企業によるプレゼンテーション及び開発製品・部品の展示

講師：㈱ミクニ（神奈川県小田原市）執行役員

開発本部本部長 兼 モビリティ事業本部副本部長 唐澤 利夫 氏  
 NOK㈱（神奈川県藤沢市）NOK R&D

上席理事 Technical Director of NOK R&D 庄島 大八 氏

先行開発企業5社（住友理工㈱（愛知県名古屋市）、ナカムラマジック㈱（長野県上伊那郡箕輪町）、㈱カタナコーポレーション（浜松市北区）、㈱エフ・シー・シー（浜松市北区）、平岡ボデー㈱（浜松市西区））

参加費：無料

参加者：100社175名（定員：200名、申込：113社200名）

[県西部地域] 55社95名、[県西部地域外] 45社80名

<オンデマンド配信>

実施期間：令和5年12月19日（火）～22日（金）

参加者：68社197名

ウ 試験装置メーカーによる技術動向講演会

開催日：令和6年3月21日（木）  
会場：アクトシティ浜松 展示イベントホール  
内容：試作部品の性能検証時、製作に必要な試験機について、試験機メーカーによる最新情報の講演会  
講師：試験機メーカー2社（協立電機株（静岡市）、株島津製作所（京都市））  
参加費：無料  
参加者：78社157名（申込：88社182名）

エ 会員企業アンケート調査（CASE 関連）

<第6回アンケート結果報告会>

開催日：令和5年7月3日（月）  
会場：WEB開催  
内容：会員企業に対し令和5年2月に実施したアンケート調査結果の報告など  
参加者：44社48名（定員：300回線）

<第7回アンケート調査>

実施日：令和6年2月  
内容：会員企業の次世代自動車に対する取り組み状況や次世代自動車センターへの要望事項を把握し、その結果を事業に反映することを目的としたアンケート調査を行う  
対象：会員企業

オ 海外イベント視察報告会

<現地視察>

- ①上海モーターショー：令和5年4月18日（火）～27日（木） ※WEB
- ②ミュンヘンモーターショー：令和5年9月5日（火）～9日（土）  
参加者：センター長、技術コーディネーター2名  
報告会：令和5年11月14日（火）
- ③CES2024：令和6年1月9日（火）～12日（金）  
参加者：センター長、技術コーディネーター2名  
報告会：令和6年3月6日（水）

<報告書の配布>

各海外イベント視察後、会員企業に対して報告書を配布

カ 部品ベンチマーク活動及び報告会

・部品分解調査説明会

開催日：令和5年5月18日（木）  
会場：WEB開催  
内容：①アリア 電動パワートレーン（日産）  
②IONIQ5 電動パワートレーン（HYUNDAI）  
参加者：129社525名（定員：300回線）  
開催日：令和5年9月22日（金）  
会場：WEB開催  
内容：①bz4x 電動パワートレーン（トヨタ）  
②i4 電動パワートレーン（BMW）  
参加者：119社432名（定員：300回線）  
開催日：令和5年10月11日（水）

会 場：WEB 開催

内 容：e-208 電動パワートレイン (Peugeot)

参加者：96 社 282 名 (定員：300 回線)

- ・ 部品ベンチマークルーム見学

見学者：168 回 675 名 ※令和 5 年度累計

- ・ 調査研究のため会員企業へベンチマーク部品貸出し

貸出し：5 社 17 部品 ※令和 5 年度累計

- ・ 会員企業による分解調査結果報告会

開催日：令和 6 年 3 月 21 日 (木)

会 場：アクトシティ浜松 展示イベントホール

内 容：部品ベンチマークルームの分解展示部品に関して、詳細調査・分析を行なった会員企業による調査結果の報告会

参加者：78 社 157 名 (申込：88 社 182 名)

- ・ 部品ベンチマークルームの拡充

次世代自動車部品の研究開発促進を目的に、欧州等の最新 EV 車両の部品展示の充実を図るため、部品ベンチマークの拡張を実施する。

実 施：令和 5 年 8 月

#### キ 車両分解活動

長城汽車製「欧拉 好猫 (Good Cat)」の分解調査

令和 4 年度に購入し、電動パワートレインの分解・調査を実施した、中国製 EV 車両の分解調査説明会や展示を行うとともに、艀装品・熱マネジメント及び車体関係を分解調査する。

<主な予定>

- ・ 電動パワートレイン分解調査説明会～分解部品展示会
- ・ 電動パワートレイン分解部品展示 (部品ベンチマークルーム)
- ・ 電動パワーユニット取り外し～分解・基礎調査～分解調査説明会
- ・ 電動パワーユニット分解部品の貸出し (会員企業による調査・解析)
- ・ 車体展示用カットモデル製作
- ・ 電動パワートレイン分解部品調査の最終報告会 等

#### ク 次世代自動車搭載部品の現場見学会

次世代自動車に搭載される最新技術を盛り込んだ部品製造を行っている大手部品メーカーの工場を訪問し、部品構成や生産工程等の見学を行う。

開催日：令和 5 年 9 月 19 日 (火)

会 場：(株)IHI 横浜事業所 (神奈川県横浜市)

参加費：無料

参加者：19 社 19 名 (定員：30 名)

#### ケ 企業訪問活動

- ・ 先行開発取り組み状況調査
- ・ 固有技術探索活動状況調査
- ・ 製造時 CO2 削減取り組み状況調査
- ・ 技術マッチング活動 等

#### コ 試作部品等製作委託

技術力や提案力の向上を図る会員企業に対して、部品試作、工法開発、評価・

解析手法に関するテーマを選定し、公募により試作品などを製作委託するための費用の一部を支援する。

<第1回>

公募期間：令和5年6月1日（木）～7日（水）

委託費：上限300万円

テーマ：①超高強度ボルト（強度14.9）の製品開発

②量産化を見据えたアルミパイプとアルミスチの接合技術開発

審査会：令和5年7月10日（月）

採 択：2社

<第2回>

公募期間：令和5年7月14日（金）～20日（木）

委託額：上限300万円

テーマ：①自動車用ベンチレーテッドディスクブレーキローターの工法開発

②プレス加工による高平面度の製品の成形

審査会：令和5年8月31日（木）

採 択：2社

サ 開発企業向け固有技術探索活動説明及び基礎講座

①固有技術探索チャート作成完了企業：1社

②説明会

開催日：令和5年8月10日（木）

会 場：WEB開催

内 容：自社の固有技術が見える化する「固有技術探索チャート」の作成方法の説明

参加者：12社20名（定員：30名）

③基礎講座（全2回）

開催日：第1回／令和5年9月14日（木）

第2回／令和5年10月12日（木）

会 場：WEB開催

内 容：固有技術探索チャートを作成することで自社が持つ技術の棚卸しを行い、固有技術の見える化をサポート。また、個別面談を実施し、固有技術の認識活用を促進

参加者：第1回／2社4名（定員：10名）

第2回／1社3名（定員：10名）

シ 自動車工学関連講座

<新入・若手社員向け講座（全4回）>

開催日：第1回／令和5年4月10日（月）

第2回／令和5年5月24日（水）

第3回／令和5年6月23日（金）

第4回／令和5年7月28日（金）

会 場：WEB配信

内 容：第1回／自動車部品の製造工場における安全教育

第2回／製造現場での5S

第3回／自動車の構造と製造工程

第4回／製造現場の品質管理

参加者：第1回／69社 299名（定員：200回線）  
第2回／50社 131名（定員：200回線）  
第3回／65社 166名（定員：200回線）  
第4回／48社 154名（定員：200回線）

<中堅技術者向け講座（全6回）>

開催日：第1回／令和5年5月17日（水）  
第2回／令和5年6月14日（水）  
第3回／令和5年7月19日（水）  
第4回／令和5年9月13日（水）  
第5回／令和5年10月18日（水）  
第6回／令和5年11月15日（水）

会場：WEB配信

内容：第1回／トヨタ生産方式基礎講座（初級）  
第2回／トヨタ生産方式基礎講座（中級）  
第3回／トヨタ生産方式基礎講座（中級：標準作業）  
第4回／IE講座 品質・生産性を維持管理する変化点管理の進め方  
第5回／IE講座 3つの役割を果たす！構内物流改善の進め方  
第6回／IE講座 在庫管理と在庫削減の進め方

参加者：第1回／78社 630名（定員：200回線）  
第2回／53社 390名（定員：200回線）  
第3回／43社 279名（定員：200回線）  
第4回／61社 278名（定員：200回線）  
第5回／43社 176名（定員：200回線）  
第6回／59社 240名（定員：200回線）

<モータ及び電気自動車（全5回）>

開催日：第1回／令和5年8月28日（月）  
第2回／令和5年9月28日（木）  
第3回／令和5年10月30日（月）  
第4回／令和5年11月27日（月）  
第5回／令和5年12月21日（木）

会場：WEB配信

内容：第1回／モータの基礎（前編）  
第2回／電気自動車の基礎（前編）  
第3回／モータの基礎（後編）  
第4回／電気自動車の基礎（後編）  
第5回／電気パワートレーンの比較

参加者：第1回／88社 757名（定員：90回線）  
第2回／114社 547名（定員：90回線）  
第3回／75社 314名（定員：90回線）  
第4回／103社 318名（定員：90回線）  
第5回／95社 314名（定員：90回線）

<振動騒音の測定方法及び分析手法（全2回）>

開催日：令和5年8月25日（金）、9月8日（金）

会場：WEB開催

講師：豊橋技術科学大学 教授 河村 庄造 氏

内容：電動化に伴い重要なテーマとなる振動騒音について、基礎理論及び大学の学部生レベルの実習により構成された講座

参加者：19社29名、16社24名（定員：90回線）

<振動騒音性能の基礎>

開催日：令和5年10月2日（月）

会場：WEB開催

内容：振動騒音の現象や主な対策技術を入門レベルとして解説。この知識を身につけ、完成車メーカーや大手部品メーカーとの商談に役立つ講座

参加者：33社94名（定員：200名）

<サスペンション・ステアリング・ブレーキの基礎>

開催日：令和5年11月24日（金）

会場：WEB開催

内容：サスペンション、ステアリング、ブレーキの基礎知識を習得し、会員中小企業による部品製造の固有技術向上に役立つ講座

参加者：48社254名（定員：200名）

<衝突安全性能の基礎>

開催日：令和5年12月13日（水）

会場：WEB開催

内容：衝突安全の基礎知識を習得して、次世代自動車部品の製造技術に関する固有技術の向上に役立つ講座

参加者：33社163名（定員：200名）

<熱マネジメントの基礎>

開催日：第1部／令和6年1月25日（木）

第2部／令和6年2月5日（月）

会場：WEB配信

内容：電気自動車の航続距離、空調性能、充電時間等の技術開発で重要になる熱マネジメント技術の基礎知識を習得するための講座

参加者：第1部／58社119名（定員：200名）

第2部／70社230名（定員：200名）

<自動運転の基礎>

開催日：令和6年3月11日（月）

会場：WEB開催

内容：CASEの要素である自動運転の基礎知識を習得するための講座

参加者：55社195名（定員：200名）

ス 先行開発企業報告会 ※技術動向講演会（CASE関連）と同時開催

開催日：令和5年11月13日（月）

会場：グランドホテル浜松

内容：次世代自動車部品の先行開発企業による事例発表と部品展示を実施

セ 技術マッチング活動

大手メーカー等から試作部品製作依頼先の相談があった際、会員企業を推薦し、ニーズに合ったマッチングを図る。

①株式会社シューテック：EVミニカー開発に関する協力企業探索

②旭化成株式会社：モータ開発に関する協力企業探索

③日本精機株式会社：マグネット部品開発に関する協力企業探索

④MQエンジニアリング株式会社：モータのベンチテスト委託可能な企業探索

- ⑤モリテックスチール(株)：金属部品、樹脂部品の新規外注先探索
- ⑥富士電機(株)：精密樹脂成型メーカーの企業探索
- ⑦(株)イハラ製作所：精密プレス成型メーカーの企業探索
- ⑧(株)ニフコ：金属製メッシュ部品加工と樹脂インサート成形の外注先探索

(2) カーボンニュートラル支援事業

ア カーボンニュートラル対応技術動向講演会

開催日：令和5年9月26日（火）

会場：グランドホテル浜松

対象：センター会員企業及び浜松商工会議所法人会員企業

内容：中小企業に必要なカーボンニュートラル対応について、対応の考え方、進め方、具体的な取り組み事例等を紹介する講演会

講師：旭化成(株)（東京都千代田区）モビリティ&インダストリアル事業部  
技術開発総部 機能材料用途開発推進部 部長 藤澤 朋幸 氏  
住友電気工業(株)（大阪府大阪市）  
安全環境部 地球環境部 部長 中馬 隆彰 氏

参加費：無料

参加者：92社142名（定員：200名、申込：164名）

[県西部地域] 67社107名、[県西部地域外] 25社35名

イ 先行取り組み企業報告会

開催日：令和5年9月26日（火）

会場：グランドホテル浜松

対象：センター会員企業及び浜松商工会議所法人会員企業

内容：先行的にカーボンニュートラルの対応を行っている中小企業の事例を紹介

講師：次世代自動車センター浜松 センター長 望月 英二

※カーボンニュートラル対応技術動向講演会と同時開催

ウ 製造時CO2削減計画策定の基礎講座

開催日：令和6年3月26日（火）

会場：WEB開催

内容：ものづくり中小企業における製造時CO2排出削減に向けた計画策定方法について指南する講座

講師：次世代自動車センター浜松 センター長 望月 英二

参加費：無料

参加者：50社112名（申込：61社93名）

(3) デジタルものづくり対応支援事業

ア サイバーセキュリティ対策基礎講座

開催日：令和5年6月30日（金）

会場：グランドホテル浜松

内容：サイバーセキュリティ対策が必要となる中小製造業者に、考え方や取り組み手順等、基礎的な情報を提供する講座

講師：ヤマハ発動機(株) IT本部 プロセス・IT部

サイバーセキュリティグループ グループリーダー 蔦木 加代子 氏

次世代自動車センター浜松 センター長 望月 英二

参加費：無料

参加者：76社130名（定員：180名、申込151名）

[県西部地域] 55社99名、[県西部地域外] 21社31名

#### イ 3Dプリンタ実用化プロジェクト

中小企業の製作工数や金型の保管削減等のため、3Dプリンタを活用した樹脂補給部品の試作・評価活動を行う。

メンバー：スズキ㈱、ヤマハ発動機㈱、矢崎総業㈱、三恵㈱、  
浜松工業技術支援センター

##### <全体プロジェクト活動>

3Dプリンタに関する情報を収集し、個別活動メンバーで共有

- ・個別チーム活動状況報告会

開催日：令和5年6月2日（金）

会場：浜松商工会議所会館 会議室

参加：4社18名

- ・3Dプリンタ最新技術動向セミナー

開催日：令和5年8月10日（木）

会場：浜松商工会議所会館 会議室

参加：5社25名

#### ウ CAE解析のための材料力学基礎講座

開催日：令和6年2月15日（木）

会場：WEB開催

内容：CAEの解析結果の意味を正しく理解し、設計へフィードバックするため、CAEと「材料力学」を関連付けて理解を深める基礎講座

講師：次世代自動車センター浜松 センター長 望月 英二

参加費：無料

参加者：38社111名（申込：44社77名）

#### エ 工学系学生のインターンシップ事業

中小企業がデジタルものづくりに対応するため、特に不足しているデジタル人材の確保に向け、静岡大学の学生を対象に中小企業でのインターンシップを実施する。

- ・受入企業募集：令和5年5月24日（水）～6月16日（金）

- ・応募企業数：6社

- ・インターンシップ学生募集：令和5年9月～10月 ※大学側で対応

- ・インターンシップ実施時期：令和6年2月下旬～3月上旬

#### (4) サプライチェーン基盤強化支援事業

##### ア 現場改善のための企業訪問

現場改善の課題がある会員企業を対象に、技術コーディネーターが企業訪問し、現場確認を行いながら相談に応じる。

訪問企業：6社

##### イ 小規模企業向け固有技術探索活動報告及び説明会・基礎講座

ものづくり中小企業が、自社の「固有技術等」を可視化するため、固有技術探索チャートの作成方法を学ぶ講座等を開催する。

##### <説明会>

開催日：①令和5年5月12日（金）、②令和5年9月13日（水）

③令和5年12月8日（金）

会 場：WEB 開催

参加者：①16社 25名、②5社 5名、③9社 11名（定員：各 10社）

<基礎講座（全 2回）>

開催日：①令和 5年 6月 7日（水）、7月 18日（火）

会 場：WEB 開催

講 師：次世代自動車センター浜松 センター長 望月 英二

参加費：無料

参加者：①2社 4名（定員：5社）

ウ 現場改善のための基礎講座

現場改善に必要な基礎知識となる「5S・生産管理・在庫管理・品質管理」をテーマに講座を開催し、希望企業に対して個別ワークショップ（3回程度）を開催する。

開催日：①令和 5年 5月 17日（水）、19日（金）

②令和 5年 12月 1日（金）

会 場：（公財）浜松地域イノベーション推進機構 セミナー室

参加者：①19社 30名、②25社 42名

ワークショップ企業：①6社（期間：令和 5年 6月～9月）

②9社（期間：令和 6年 1月～令和 6年 3月）

(5) その他（関連支援機関との連携等）

ア 静岡県先端産業創出プロジェクト

開催日：令和 5年 4月 28日（金）、6月 23日（金）、10月 16日（月）、  
12月 20日（水）

イ 静岡県積層造形技術協議会

開催日：令和 5年 5月 17日（水）

ウ 静岡県信用保証協会との連携会議

開催日：令和 5年 6月 16日（金）、令和 6年 2月 26日（月）

エ 次世代自動車関連産業支援機関との定例リモート会議

開催日：令和 5年 5月 17日（水）、7月 19日（水）、9月 20日（水）、  
11月 29日（水）、令和 6年 3月 25日（月）

<会議参加機関>

（公財）埼玉県産業振興公社 次世代自動車支援センター埼玉

（公財）ひろしま産業振興機構 カーテクノロジー革新センター

（公財）浜松地域イノベーション推進機構 次世代自動車センター浜松

オ カーボンニュートラルに向けた自動車部品サプライヤー事業転換支援事業  
（国：地域支援拠点運営事業）

経済産業省の委託事業の地域支援拠点として、電動化に伴って事業転換を迫られるサプライヤー向けの相談窓口となり、中小企業等が取り組む電動車部品製造への挑戦や次世代技術への対応ができるような提案力の向上につなげるための事業を実施する。

契約期間：令和 5年 4月 3日（月）～令和 6年 3月 31日（日）

委託金額：15,037,236円

確定額：10,268,380円

カ 他支援機関等との連携

静岡県内の行政機関、支援機関及び中核企業に対して、次世代自動車センター  
浜松の概要・事業説明を実施し、会員企業の獲得及び認知向上を図る。

**【成果指標】**

項目	実績		指標
	令和4年度※1	令和5年度※2	令和5年度
会員入会企業数	498社	530社	－社
訪問・来訪企業件数 ※延べ件数	236回	227回	260回
<内訳>			
・固有技術探索チャート現場指導	6回	3回	5回
・先行企業訪問調査	4回	14回	10回
・技術ニーズマッチング	6回	1回	10回
・試作部品製作委託現場指導	20回	15回	15回
・部品ベンチマークルーム等見学	200回	162回	200回
・サプライチェーン基盤強化現場指導	－回	32回	20回
秘密保持契約締結件数	44件	22件	10件
「固有技術探索活動基礎講座」受講企業数	25社	4社	20社
試作品製作委託契約件数	6件	4件	8件

※1：令和5年3月末日時点、※2：令和6年3月末日時点

## 7【拓く】販路開拓支援

### 22 ものづくり販路開拓支援事業

決算額 407,152 円（予算額 620 千円）

＜浜松市受託＞

#### 【目的】

浜松市内で製造業を営む中小企業者等の自社製品・技術の新たな販路開拓を支援する。また、浜松地域の高い技術力と産業集積を国内外に発信することにより、「ものづくりのまち・浜松」の存在感を高め、浜松地域におけるビジネスチャンスを創出する。

#### 【年度総括】

本事業では、主に「浜松市ものづくり販路開拓事業費補助金」の申請受付等の事務手続を行うとともに、補助金交付企業に対してはアフターフォローとしてヒアリング調査を実施した。併せて、出展後の状況把握とともに、課題に対する継続的な販路開拓支援を行った。令和5年度は、ビジネス環境が安定してきたことから申請件数は昨年度と比べ増加しており、首都圏等の展示会の来場者数等もコロナ禍以前に戻った。一方、展示会へのオンライン出展申請は1件となり、対面式の商談ニーズが高いことがヒアリングからもうかがえた。引き続き、地域中小企業の新たな販路開拓の一助となるよう、本事業を通じて販路開拓支援を実施していく。

#### 【実施内容】

##### (1) ものづくり販路開拓事業費補助金（市予算：15,000千円）

国内外（県内を除く）で開催される各種展示商談会に自社製品・技術を出展する浜松市内の中小企業等に対し、浜松市が出展に要する経費の一部を補助するための準備業務を行った。

公募期間：[1次] 令和5年4月10日（月）～5月31日（水）

[2次] 令和5年7月18日（火）～随時募集

対 象：浜松市内に主たる事業所を有し、製造業、情報通信業のうち情報サービス業を営む中小企業者等。又は、上記に該当するものを1者以上含み、研究開発を目的に2者以上の者で組織された共同体

補 助 率：1/2 以内

補 助 額：上限 200 千円（国内）、500 千円（海外）

対象経費：出展費用、展示装飾費、通信運搬費、人件費、動画作成費など

事業期間：令和5年4月1日（土）～令和6年3月31日（日）

##### ア 国内 [1次]

申請件数：38 件

採択件数：38 件 ※うち3件事業中止

交付決定額：7,885 千円（38 件）

交付確定額：7,231 千円（35 件）

##### ＜交付確定企業一覧＞

(単位:円)

1次	企業名	展示商談会	交付確定額
1	㈱ 葛木 (浜松市南区)	第28回 機械要素技術展	200,000

2	(株)浅沼技研 (浜松市西区)	測定計測展 2023	200,000
3	(株)アルファプロジェクト (浜松市東区)	EdgeTech+2023	200,000
4	ニッコウプロセス(株) (浜松市北区)	第8回【名古屋】設計・製造 ソリューション展	300,000
5	(株)ゴードーソリューション (浜松市南区)	第8回【名古屋】設計・製造 ソリューション展	200,000
6	(株)サイト (浜松市西区)	関東グランドフェア 2023	200,000
7	(株)クリエイティブ・シス テム (浜松市北区)	第8回 テーマパーク EXPO 2023	200,000
8	(有)太悦鉄工 (浜松市東区)	14th イベントジャパン 2023	200,000
9	(株)美浜工業 (浜松市北区)	新価値創造展 2023	200,000
10	(株)ジャパンエコテック (浜松市北区)	FOOMA JAPAN 2023	200,000
11	ヘルツ電子(株) (浜松市北区)	第8回 スマート工場 EXPO	300,000
12	(株)SLDS (浜松市東区)	SPORTEC 2023	200,000
13	(株)桜井製作所 (浜松市東区)	メカトロテックジャパン 2023	200,000
14	(株)エスト (浜松市西区)	レジャーホテルフェア 2023	200,000
15	(株)エヌエスティー (浜松市北区)	第16回 オートモーティブワ ールド	200,000
16	浜松カーボニクス(株) (浜松市中区)	第23回 国際ナノテクノロジ ー総合展・技術会議	200,000
17	浜口ウレタン(株) (浜松市西区)	危機管理産業展 2023	200,000
18	遠州工業(株) (浜松市南区)	緑十字展 2023 in 名古屋	200,000
19	(株)システム・ジェーピー (浜松市東区)	第36回 日本内視鏡外科学会 総会 (併設展示会)	200,000
20	スナオ電気(株) (浜松市東区)	第13回 農業 WEEK	200,000
21	(株)小林ダイヤ (浜松市東区)	メカトロニックジャパン 2023	200,000
22	(株)小楠金属工業所 (浜松市西区)	メカトロニックジャパン 2023	200,000

23	(株)杉山製作所 (浜松市西区)	モノづくりフェア 2023	200,000
24	(株)Magic Shields (浜松市中区)	Japan Home & Building Show 2023	300,000
25	ATV(株) (浜松市北区)	ドラマーズパラダイス 2023 in 大阪夏の陣	102,000
26	パイフォニクス(株) (浜松市東区)	緑十字展 2023 in 名古屋	200,000
27	(株)カタナコーポレーション (浜松市北区)	人とくるまのテクノロジー展 2023 YOKOHAMA	300,000
28	(株)カタナコーポレーション (浜松市北区)	人とくるまのテクノロジー展 2023 ONLINE STAGE 1	300,000
29	合同会社クライン (浜松市西区)	Pet 博	185,000
30	newhill.co (浜松市中区)	TOKYO ハンドクラフトギターフェス 2023	111,000
31	大学産業(株) (浜松市南区)	危機管理産業展 2023	200,000
32	(株)東洋鉄工所 (浜松市東区)	日本木工機械展 Mokkiten Japan 2023	200,000
33	(株)丸文製作所 (浜松市中区)	2023 NEW 環境展/2023 地球温暖化防止展	133,000
34	(株)鈴木スプリング製作所 (浜松市北区)	第26回 関西ものづくりワールド	200,000
35	フジ精工(株) (浜松市天竜区)	モノづくりフェア 2023	200,000
合計			7,231,000

イ 国内 [2次]

申請件数 : 24 件

採択件数 : 24 件

交付決定額 : 4,428 千円 (24 件)

交付確定額 : 4,338 千円 (24 件)

< 交付確定企業一覧 >

(単位:円)

2次	企業名	展示商談会	交付確定額
1	オーム電機(株) (浜松市浜名区)	第28回 機械要素技術展	200,000
2	パルステック工業(株) (浜松市浜名区)	人とくるまのテクノロジー展 2023 NAGOYA	200,000
3	橋本エンジニアリング(株) (浜松市浜名区)	第50回 国際福祉機器展 H.C.R.2023	200,000
4	(株)モールド技研 (浜松市浜名区)	IPF JAPAN 2023 国際プラスチックフェア	189,000
5	(株)エムテック (浜松市浜名区)	IPF JAPAN 2023 国際プラスチックフェア	50,000

6	(株)旭エンジニアリング (袋井市)	しんきんビジネスマッチング ビジネスフェア 2023	165,000
7	(株)インテグラ技術研究 所 (浜松市中央区)	メカトロテックジャパン 2023	200,000
8	(株)JAMPACK (浜松市中央区)	FIELDSTYLE JAMBOREE 2023	200,000
9	(株)真誠 (浜松市中央区)	メカトロテックジャパン 2023	200,000
10	(有)アイディール (浜松市中央区)	第 12 回 インターペット	200,000
11	浜松ナノテクノロジー (株) (浜松市中央区)	第 23 回 国際ナノテクノロジー 総合展・技術会議	200,000
12	浜松計装(株) (浜松市中央区)	第 17 回 総合試験機器展	120,000
13	(株)スギヤマ (浜松市浜名区)	メカトロテックジャパン 2023	200,000
14	(有)オグショー (浜松市中央区)	東京オートサロン 2024	200,000
15	GEE(株) (浜松市中央区)	光とレーザーの化学技術フェア 2023	174,000
16	(株)牧田技研 (浜松市中央区)	メカトロテックジャパン 2023	200,000
17	SHODA(株) (浜松市浜名区)	日本木工機械展 Mokkiten Japan 2023	200,000
18	(株)オリオン工具製作所 (浜松市浜名区)	日本木工機械展 Mokkiten Japan 2023	200,000
19	(株)内山刃物 (浜松市中央区)	メカトロテックジャパン 2023	200,000
20	弥栄鉄工(株) (浜松市中央区)	日本木工機械展 Mokkiten Japan 2023	200,000
21	シンクビジョン(株) (浜松市中央区)	メカトロテックジャパン 2023	200,000
22	サンショウ(株) (浜松市中央区)	東京オートサロン 2024	200,000
23	アツミ工業(株) (浜松市中央区)	メカトロテックジャパン 2023	40,000
24	(株)モアソンジャパン (浜松市中央区)	モノづくりフェア 2023	200,000
合計			4,338,000

ウ 海外 [1 次]

申請件数 : 9 件

採択件数 : 9 件

交付決定額 : 5,000 千円 (9 件)

交付確定額 : 4,742 千円 (9 件)

< 交付確定企業一覧 >

(単位:円)

1次	企業名	展示商談会	交付確定額
1	株式会社クシタニ (浜松市南区)	北京国際摩托博覧会	500,000
2	沢根スプリング株式会社 (浜松市南区)	MD&M WEST 2024	500,000
3	株式会社オノックスエムティー ティー (浜松市浜北区)	MD&M WEST 2024	500,000
4	ハマニ化成株式会社 (浜松市西区)	バンコク オートサロン 2023	500,000
5	株式会社タケミクロス (浜松市東区)	37th Milano Unica / ミラノ ユニカ 2025 SS	500,000
6	ATV株式会社 (浜松市北区)	The 2023 NAMM Show	750,000
7	パイフオトニクス株式会社 (浜松市東区)	AISTech 2023	500,000
8	株式会社カタナコーポレーション (浜松市北区)	ADAS & Autonomous Vehicle Technology Expo Europe	750,000
9	newhill.co (浜松市中区)	上海国際手工ギター展示会	242,000
合計			4,742,000

エ 海外 [2次]

申請件数 : 4件

採択件数 : 4件

交付決定額 : 2,000千円 (4件)

交付確定額 : 1,732千円 (4件)

< 交付確定企業一覧 >

(単位:円)

2次	企業名	展示商談会	交付確定額
1	パルステック工業株式会社 (浜松市中央区)	INCASE 2023	500,000
2	株式会社真誠 (浜松市中央区)	METALEX 2023	232,000
3	株式会社SLDS (浜松市中央区)	上海国際フィットネス展示会	500,000
4	SHODA株式会社 (浜松市浜名区)	INDIA WOOD (WOOD TECH)	500,000
合計			1,732,000

(2) 海外進出サポート事業

浜松市が主催する「浜松海外経済交流推進協議会」に参画し、協議会で実施する事業に対して、各機関と連携し、地域中小企業の支援を行った。

### 【成果指標】

項目		実績		指標
		令和4年度※1	令和5年度※2	令和5年度
国内	出展企業数	32社	59社	40社
	商談成立件数	30件	86件	40件
海外	出展企業数	16社	13社	10社
	商談成立件数	8件	8件	10件

※1：令和5年3月末日時点、※2：令和6年3月末日時点

### 2.3 マッチング支援事業

決算額 260,000 円（予算額 1,100 千円） <財団自主>  
 決算額 833,912 円（予算額 1,222 千円） <浜松市受託>

#### 【目的】

浜松地域の中小企業に対して、大手企業等との商談やマッチングの機会を提供し、販路開拓・受注獲得などのビジネスチャンスを創出するとともに、事業化につながる新たな需要の掘り起こしを図る。

#### 【年度総括】

大手企業や地域企業の技術ニーズを基に地域企業とマッチングを展開する本事業では、令和5年度は71件のマッチングを成立させた。具体的には、日立建機㈱による技術ニーズ説明会を開催し、提示されたニーズに対して地域企業からカーボンニュートラル等、様々な課題解決に向け地域企業5社から提案がなされ、その内の1社については具体的な取組に発展し協業に至った。

また、5年ぶり2回目となる浜松ホトニクス㈱豊岡製作所内でのプライベート展示会を開催した。静岡県西部地域企業14社が出展し、50名の来場者に対し製品・技術の紹介を行った。そのうちの1社は、協議を継続している。今後もフォローをしながら、成約に繋がるようにきめ細かく対応していく。

さらに、特徴的な技術を持つ地域企業の販路開拓を実現するため、経営支援NPOクラブと連携し、全国の様々な業種の大手企業等とのマッチング面談を地域企業3社に対し6回実施した。

引き続き、地域中小企業の新分野への進出や新たな取引先開拓の後押しをするため、様々なネットワークを活用したマッチング支援を実施していく。

#### 【実施内容】

##### (1) 大手企業とのマッチング支援

###### ※フォトンバレーセンター・次世代自動車センター連携事業

静岡県西部地域の7市1町と連携し、地域の優れた技術を持つ企業（受注企業）と新たに技術連携や事業連携、取引等を希望する大企業・商社・発注企業とのマッチング商談会や個別面談会等を開催する。商談会では、自動車部品・産業用機械・宇宙産業・医療機器・航空機・電子機器・環境分野等の大手企業ニーズに基づき、対応可能な技術を保有する地域企業が協業するチャンスを創出した。

また、輸送用機器関連分野を主対象に、大手メーカーなどが取り組んでいる製品開発や工程改善などで抱える課題解決に役立つ技術・製品ニーズと地域中小企業の技術・製品シーズのマッチングを創出する機会を設けた。

<令和5年度新規案件> ※令和6年3月末時点

ア 日立建機(株) 土浦工場 (茨城県土浦市)

開催日：令和5年5月31日(水)～6月1日(木)

会場：日立建機(株) 土浦工場

内容：日立建機(株)が他企業との連携による価値創造を加速するため、40社による展示会、講演、パネルディスカッションを行う「イノベーションサミット」を開催した。本イベントに浜松地域企業を推薦し、マッチングを実施。

マッチング：地域中小企業5社

進捗：イベント参加後、3社は成約に至った。

イ 日立建機(株) ニーズ説明会 (茨城県土浦市)

開催日：令和5年5月23日(火)

会場：グランドホテル浜松

内容：「コスト削減のための省エネセミナー」内の特別講演として、日立建機(株)の技術ニーズ説明会を実施。

個別相談：5社 [市内] 5社、[市外] 1社

進捗：個別面談後、1社は見積提出後に成約に至った。

ウ 浜松ホトニクス(株)電子管事業部 (磐田市) 展示商談会

開催日：令和5年11月28日(火)

会場：浜松ホトニクス(株)豊岡製作所

内容：静岡県西部地域企業14社による展示商談会を開催した。

マッチング：静岡県西部地域企業14社

進捗：1社については、見積依頼があり、現在も協議を継続している。

<令和4年度継続案件> ※令和6年3月末時点

ア ナブテスコ(株) 精機カンパニー (浜松市北区)

開催日：令和4年6月～12月

会場：地域企業及びWEB面談

内容：令和5年度に都田地区に進出するナブテスコ(株)に対して、地域におけるサプライヤー探索を浜松市、浜松商工会議所、次世代自動車センターと連携して支援

マッチング：地域中小企業18社

進捗：浜松工場での生産準備を進めるため、各社と個別面談を実施。以降は、企業間直接のやり取りを希望したため、本案件は一旦終了。定期的にナブテスコ浜松工場と地域企業の進捗状況を確認していく。

イ ヤマハ発動機(株)ロボティクス事業部 (浜松市北区)

開催日：令和4年4月～5月

会場：地域企業

内容：大手企業の技術ニーズに対して地域企業がエントリーし、個別面談

エントリー：1社 [市内] 1社、[市外] 1社

個別面談：1社 [市内] 1社、[市外] 1社

成果：商談成立1社、NDA締結1社

進捗：評価用の試作品を地域企業側で準備した。以降は直接のやり取りを希望したため本案件は終了

ウ ダイキン工業(株) (滋賀県草津市)

開催日：令和4年7月28日(木)

会場：ダイキン工業(株) 滋賀製作所

内容：産業支援機関向けにダイキン工業(株)からニーズ説明があり、その後地域企業が技術ニーズに対してエントリーし、個別面談を実施

エントリー：2社 [市内] 2社、[市外] 1社

個別面談：2社 [市内] 2社、[市外] 1社

成果：商談成立1社、NDA締結2社、口座開設2社

進捗：エントリー企業2社がダイキン工業(株)との協業に向け訪問を調整中

エ 日立建機(株) 土浦工場 (茨城県土浦市)

開催日：令和4年7月1日(金)

会場：WEB面談

内容：大手企業の技術ニーズに対して地域企業がエントリーし、個別面談

エントリー：1社 [市内] 1社、[市外] 1社

個別面談：1社 [市内] 1社、[市外] 1社

成果：商談成立1社、NDA締結1社

進捗：取引口座を開設し、成約に至った。

オ 浜松ホトニクス(株) 豊岡製作所 (磐田市)

開催日：令和4年8月26日(金)

会場：WEB面談

内容：大手企業の技術ニーズに対して地域企業がエントリーし、個別面談

エントリー：1社 [市内] 1社、[市外] 1社

個別面談：1社 [市内] 1社、[市外] 1社

成果：商談成立1社、NDA締結1社

進捗：協議をした結果、条件等で合致せず今回は見送りとなった。

カ ミネベアミツミ(株) 軽井沢工場 (長野県北佐久郡)

開催日：令和4年11月29日(火)

会場：各エントリー企業へミネベア側が訪問して実施

内容：大手企業の技術ニーズに対して地域企業がエントリーし、個別面談

エントリー：4社 [市内] 3社、[市外] 1社

個別面談：4社 [市内] 3社、[市外] 1社

成果：商談成立1社、NDA締結1社

進捗：本件を機に定期的な受注に至った企業1社

キ その他、大手企業とのマッチング及び地域企業間の販路開拓や協業に関するマッチング支援を随時実施している。

(2) 地域のマッチング技術商談会へ出展

浜松地域で開催されるビジネスマッチングフェアなどに財団ブースを設け出展することで、財団の活動内容や支援メニューなどをPRする場とし、対外的な広報活動や地元企業との交流による情報収集、企業間のマッチングを促進した。

ア 第13回 産業振興フェア in いわた

開催日：令和5年11月10日(金)～11日(土)

会場：磐田市アミューズ豊田

主催：磐田市、磐田商工会議所、磐田市商工会

内容：次世代技術で産業構造の転換をテーマに、広域交流による地域企業の

新産業・新事業創出を目的として、展示商談会を開催。財団は次世代自動車センターを中心としたブースを設け、来場者に PR を行う。

出展企業：186 社

来場者数：8,300 名

※ブース内出展企業：平岡ボデー(株) (浜松市西区)

(株)カタナコーポレーション (浜松市北区)

(3) 販路開拓コーディネート支援 (市受託事業)

優れた新商品 (新製品・新技術) を持ちながら、具体的な市場が顕在化していない、販路開拓の足掛かりが欲しい等、自社単独では販路開拓が困難な地域中小企業を対象に、経営支援 NPO クラブと連携を図り、大手企業とのマッチングまでを伴走型で支援した。

ア 経営支援 NPO クラブ (東京都千代田区)

公募期間：令和 5 年 5 月 22 日 (月) ~ 6 月 16 日 (金)

会 場：(公財) 浜松地域イノベーション推進機構 セミナー室 他

内 容：①支援企業の製品、技術の特徴や強みを分析

②セールスポイントを含めたプレゼン資料のブラッシュアップ

③各社大手企業 2 社とマッチング及びフォローアップ

負 担 金：1 社 30 千円

エントリー：6 社

支援企業：3 社

成 果：大手企業等 6 社とマッチング。内、1 社については守秘義務契約締結を進めている。

(4) Meet up Chubu

中部経済産業局が主催する、共同研究や新事業展開に向けた連携パートナーを探索するための「Meet up Chubu」と連携し、最先端で特徴のある技術を持つ浜松地域の中小企業によるピッチイベントを開催した。また、本イベントには中部圏の大手企業が多数来場するため、参加する大手企業とコンタクトを取り、今後の企業間マッチングに活かしていく。

テーマ：光・電子技術・3D 技術

開催日：令和 5 年 11 月 22 日 (水)

場 所：ナゴヤ イノベーターズ ガレージ

定 員：会場 80 名 + WEB 参加者

参加費：無料

主 催：中部経済産業局、(一社) 中部経済連合会

共 催：(公財) 浜松地域イノベーション推進機構

参加者：共同研究や新事業展開などで協業先探索に関心のある大手企業等

登壇者：地域企業 6 社

	企業名	テーマ
1	(株)カタナコーポレーション (浜松市北区)	リアルタイム可逆データ圧縮の活用
2	シナジーオプトシステムズ(株) (浜松市西区)	光計測技術とその適応分野
3	(株)ゾディアック (浜松市中区)	製品内部構造のデジタルツインを実現する X 線 CT 非破壊検査技術

4	パイフォトニクス(株) (浜松市東区)	光パターン形成 LED 照明「ホロライト」(工場内の安全対策と作業支援)
5	(株)パパラボ (浜松市中区)	目視検査に代替可能なデジタル化技術～立体的な対象物の色・質感の計測
6	(株)モアソンジャパン (浜松市中区)	多様な光学式三次元測定機と製造業における自動計測環境の構築

#### 【成果指標】

項目	実績		指標
	令和4年度*1	令和5年度*2	令和5年度
「浜松地域技術商談会」商談成立件数	2件	4件	5件
マッチング件数	76件	71件	一件

※1：令和5年3月末日時点、※2：令和6年3月末日時点

## 2.4 デジタル化推進事業

決算額 919,199 円（予算額 1,225 千円） <浜松市受託>

#### 【目的】

人手不足等により十分な営業活動ができない中小企業に対して、デジタルマーケティングを促進し、様々な顧客に対して戦略的なマーケティングをすることで販路拡大を目指す。

#### 【年度総括】

令和5年度の上半期には、地域中小企業がデジタルマーケティングを経営戦略の一つとして活用できるように、啓発的な基礎編と具体的な実践編のセミナーを2回実施した。実践編のセミナー内では、自社の強みや特徴を考え抽出する個人ワークを行い、自社HPを見つめ直す良い機会になったとの意見も多く出た。また、支援を希望する17社には、後日ヒアリング訪問を行い、現状の課題や具体的な進め方等を確認した。

下半期は、財団コーディネーターを中心に、必要に応じて専門家と連携し4社に伴走支援を実施し、WEBページの構築に向け自社の特徴や顧客層の特定、問い合わせ対応等について具体的な事例を紹介しながら支援企業の課題に対応した。

今後も、ヒアリング先には定期的にフォロー訪問を行いデジタル化による販路開拓を支援する。

#### 【実施内容】

##### (1) ウェブサイトを活用したデジタルマーケティングの推進

時間的、空間的制約のないデジタルマーケティングは、BtoBビジネスの販路開拓にも有効であることから、自社ウェブサイト等の活用について学ぶセミナーを開催する。また、専門家によるハンズオン支援を行い、デジタルマーケティング実施のための仕組みづくりを行った。

##### ア 中小企業のためのWEBマーケティングセミナー（入門編）

開催日：令和5年6月30日（金）

会場：アクトシティ浜松 コングレスセンター

講師：(株)バリューエージェント（大阪府大阪市）

代表取締役 上野山 光雄 氏

内容：中小企業や知名度の低い会社がどのようにWEBマーケティングを

活用して販路開拓を展開していくのかを学ぶ

参加料：[市内] 無料、[市外] 1,000 円

参加者：45 社 46 名（定員：50 名、申込：54 名）

[市内] 43 社 41 名、[市外] 2 社 5 名

イ 中小企業のための WEB マーケティングセミナー（実践編）

開催日：令和 5 年 7 月 14 日（金）

会 場：アクトシティ浜松 コンgressセンター

講 師：㈱バリューエージェント（大阪府大阪市）

代表取締役 上野山 光雄 氏

内 容：①ホームページを使った WEB マーケティング

②SEO 対策

③SNS 運用 等

参加料：[市内] 無料、[市外] 1,000 円

参加者：40 社 42 名（定員：50 名、申込：51 名）

[市内] 36 社 38 名、[市外] 4 社 4 名

(2) デジタルマーケティングハンズオン支援

実施日：令和 5 年 10 月～令和 6 年 3 月

会 場：支援企業内

内 容：外部アドバイザーと財団スタッフによるデジタルマーケティングの構築を目的とした伴走支援

①ヒアリング（強みや特徴の掘り起こし）

②SEO 対策や集客効果を高める記事やコンテンツの助言・指導

③業者仲介及び HP 制作会社へ仕様の伝達・フォロー

④製作した WEB サイトの確認及び改善点や運営方法の助言・指導

参加料：無料

進 捗：入門編、実践編セミナー等を通じてデジタル化に取り組む意欲のある企業 17 社を訪問し課題や取組状況をヒアリングした。その中で特に支援の必要のある企業へ財団コーディネーターと専門家による伴走支援を実施した。

支援企業：4 社（定員：4 社）

【成果指標】

項目	実績		指標
	令和 4 年度※1	令和 5 年度※2	令和 5 年度
戦略的ウェブサイト構築企業数	4 社	1 社	4 社
ハンズオン支援企業数	4 社	4 社	4 社

※1：令和 5 年 3 月末日時点、※2：令和 6 年 3 月末日時点

2 5 海外ビジネス展開支援事業

決算額 214,032 円（予算額 324 千円）

<浜松市受託>

【目的】

海外市場をターゲットに事業拡大を目指す中小企業を支援することにより、地域産業のグローバル展開を促進するとともに、新事業分野への参入の可能性の拡大を図る。

## 【年度総括】

令和5年度は、新しい市場として海外展開を検討する地域企業に対して、欧州・米国等の法令や規格に準拠する基準を学ぶ「海外認証規格セミナー」を開催した。また、海外ビジネス展開の際の販路開拓手法として、海外展示会への出展とともに Web サイトの活用が“車の両輪”となるが、現状では浜松市海外展示会出展補助企業においても、その多くが海外向け Web サイトの構築がなされていないことから、海外向け Web サイトの構築・運営の必要性や具体的なポイントを解説するセミナーを開催した。

## 【実施内容】

### (1) 海外顧客に届く！Web サイト構築セミナー

限られた予算や人員の中でも、どのように Web サイトを構築すれば海外顧客に対して訴求力を高め、ビジネスにつなげていくことができるのか、専門家が分かりやすく解説するとともに、Web サイトを有効活用している地域企業から、身近な事例を紹介するセミナーを開催することで、Web サイト構築のアクションにつなげていく。

開催日：令和5年10月12日（木）

会場：WEB 開催

講師：A&M PROJECT（静岡市）代表 ダイヤー彩野 氏

内容：第1部／講演

グローバルな視野で成功をつかむ！海外ウェブサイトとその重要性

第2部／事例紹介

丸福製茶(株)（静岡市）代表 山田 周子 氏

沢根スプリング(株)（浜松市南区）代表取締役社長 沢根 巨樹 氏

受講料：無料

参加者：28名（定員：100名、申込：37名）

### (2) 海外認証規格セミナー

AI や IoT 等の利用拡大を受け、グローバル化する電気・電子機器の市場拡大に対応し、海外への販路拡大を目指す中小企業に対して、各国の法令や規格に準拠する世界基準を理解・学ぶセミナーを開催する。

開催日：令和5年9月7日（金）

会場：WEB 開催

講師：ナカタニ テクノマネージ技術士事務所（埼玉県さいたま市）

代表 中谷 二三男 氏

受講料：[市内] 無料、[市外] 1,000 円

参加者：15社24名（定員：20名、申込：25名）

## 【成果指標】

項目	実績		指標
	令和4年度*1	令和5年度*2	令和5年度
海外ビジネス展開支援企業数	一件	1件	5社

※1：令和5年3月末日時点、※2：令和6年3月末日時点





公益財団法人

浜松地域イノベーション推進機構

Hamamatsu Agency for Innovation